

平成22年度 佐賀県くらしの実感調査結果の概要

平成22年11月
佐賀県統括本部政策監グループ

目 次

・ 調査の目的等

・ 調査の概要

・ 調査結果

第1章 くらしの満足度・期待度

第2章 くらしの各分野に対する実感

第3章 くらしの各分野・県政に対する意見・提案

・調査の目的等

【調査の目的】

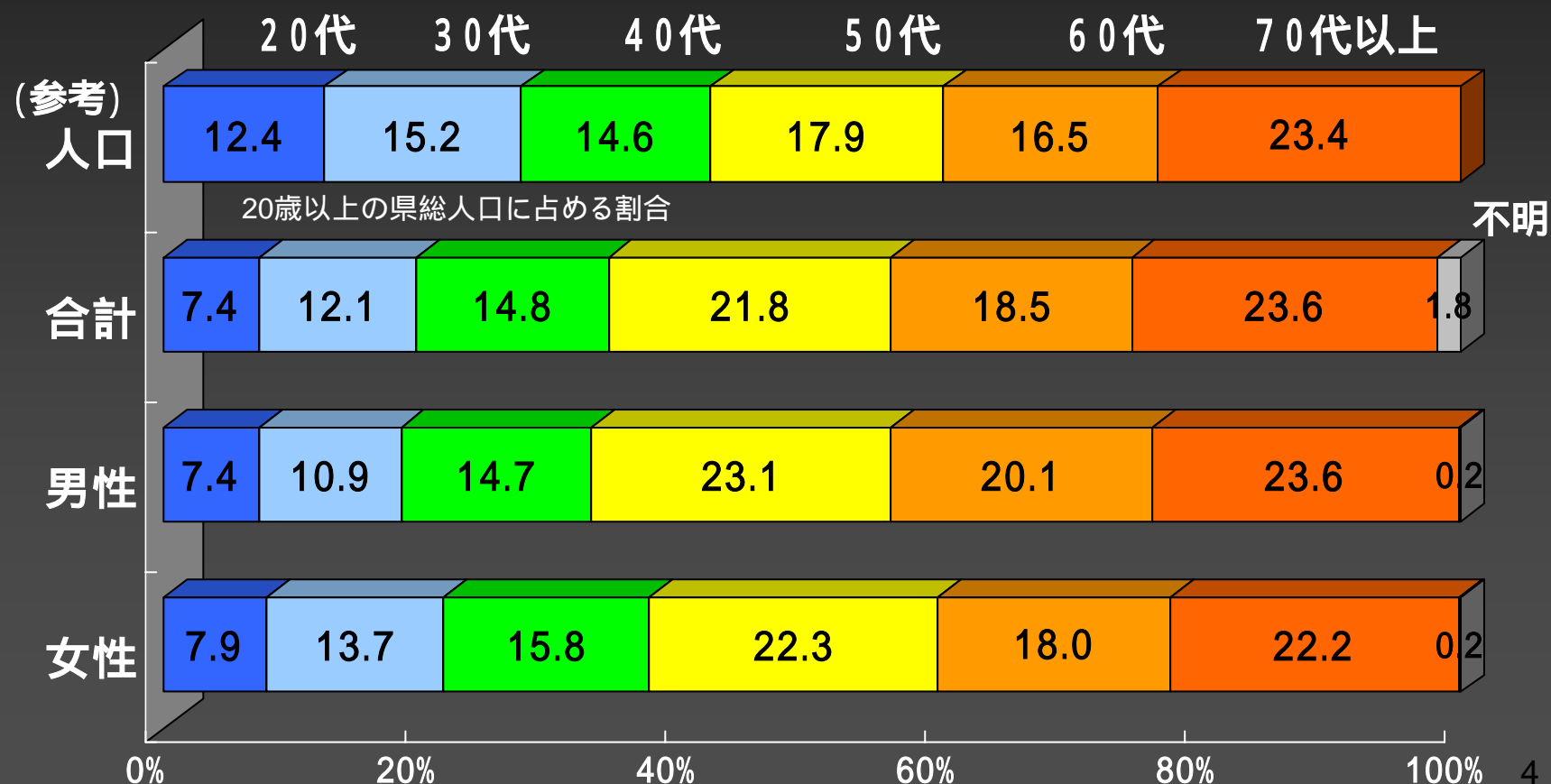
- ・県の施策全般について、県民の暮らしの中での実感を把握し、今後の県政運営に反映させるため

【調査項目】

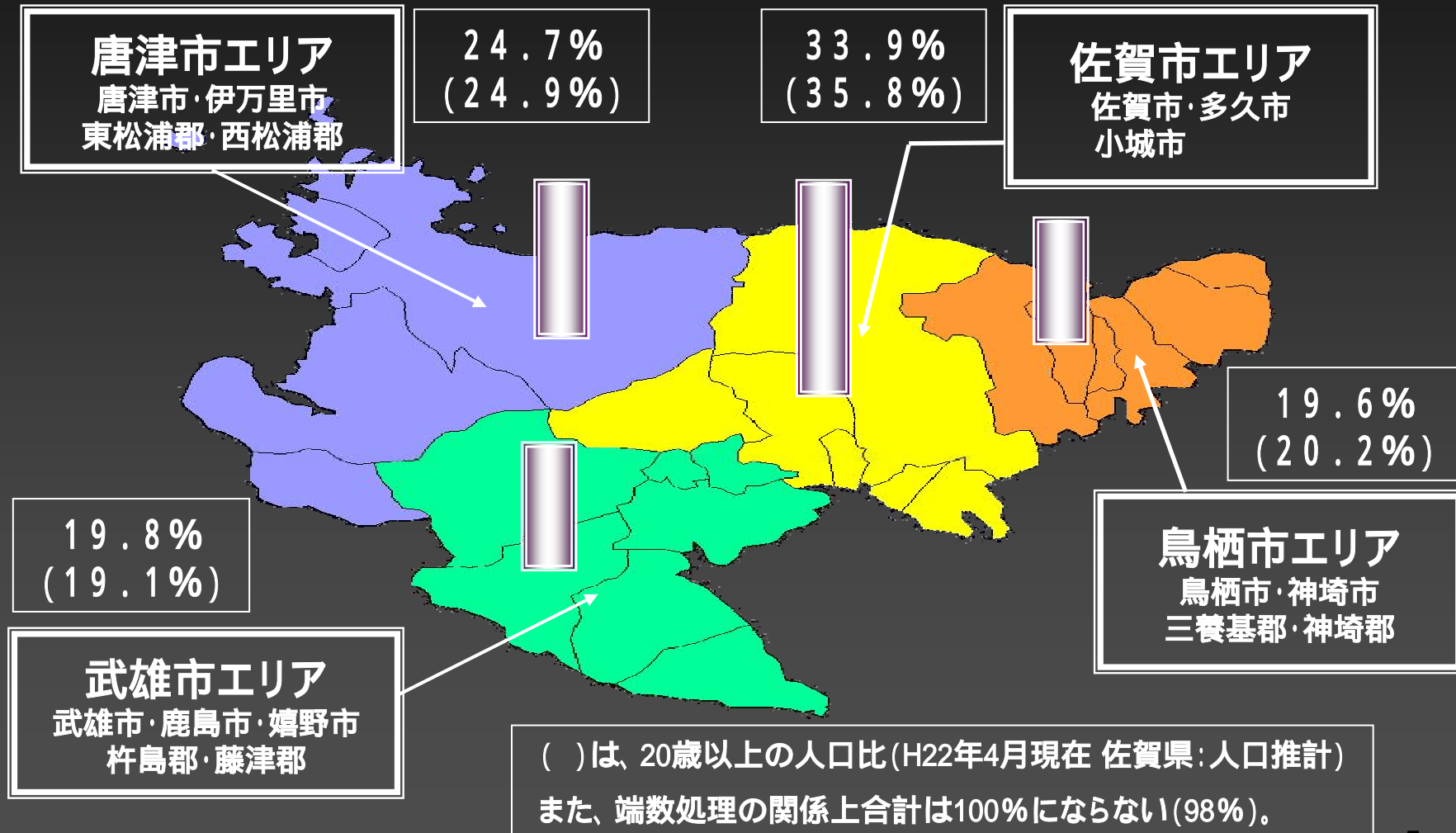
- くらしの満足度・期待度
- ・県民満足度調査(H15～18)結果との経年比較
- くらしの各分野に対する実感
- ・「総合計画2007」の施策分野(子育て、福祉、労働など28分野)
- ・施策分野ごとの県民が望む姿
- 県政に対する意見・提案

調査の概要

- 調査対象: 20歳以上の男女3,000人を無作為抽出
(有効回答数1,463人、有効回答率48.8%)
- 調査方法: 郵送調査法
- 調査期間: 平成22年6月26日(土) ~ 7月9日(金)



回答者居住地別分布



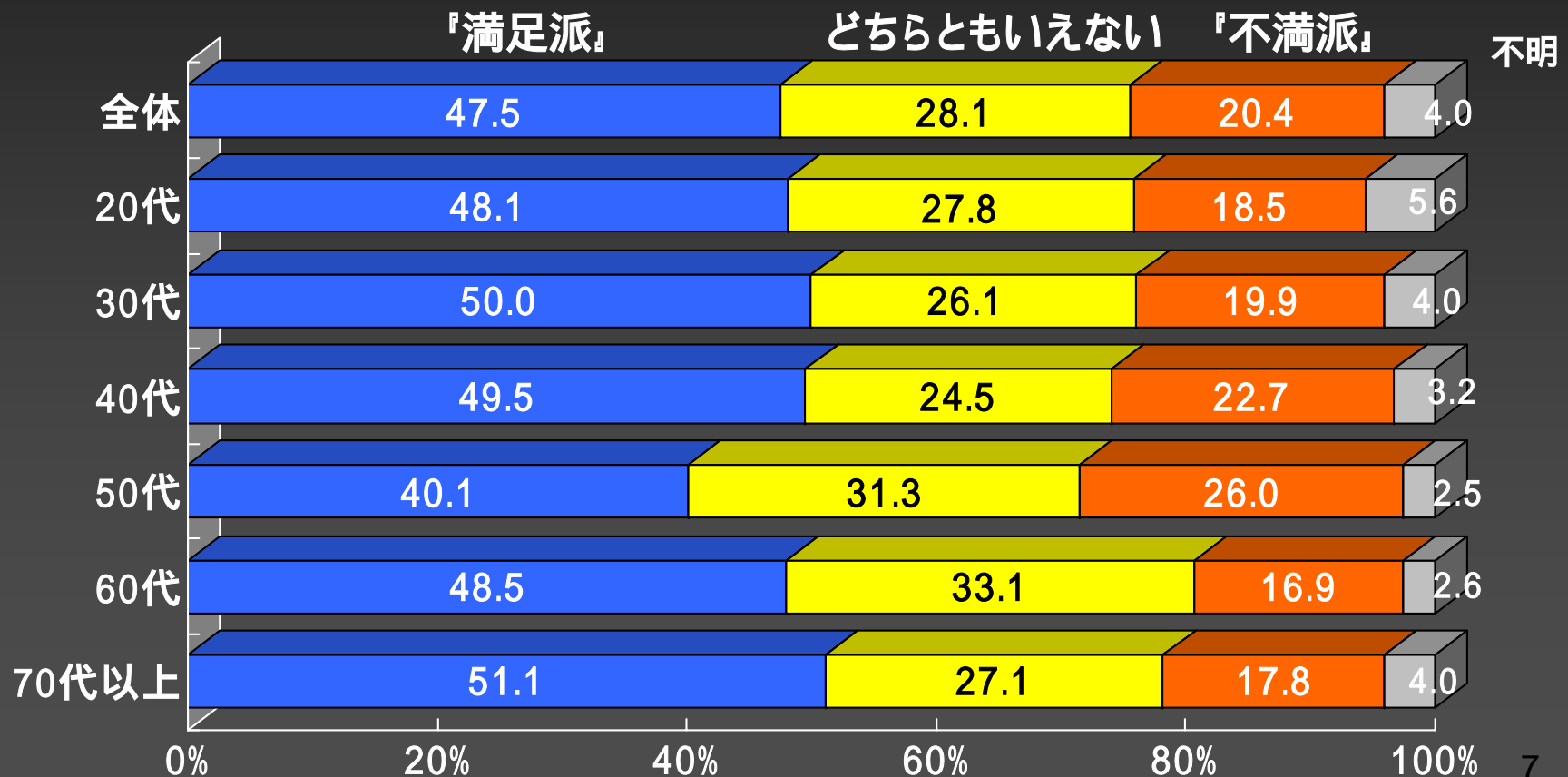
・調査結果

第1章 くらしの満足度・期待度

- 1 佐賀県でのくらしの総合満足度
- 2 くらしの各分野についての満足度
- 3 くらしの各分野についての県に対する期待度
- 4 くらしの各分野についての満足度と期待度の関連

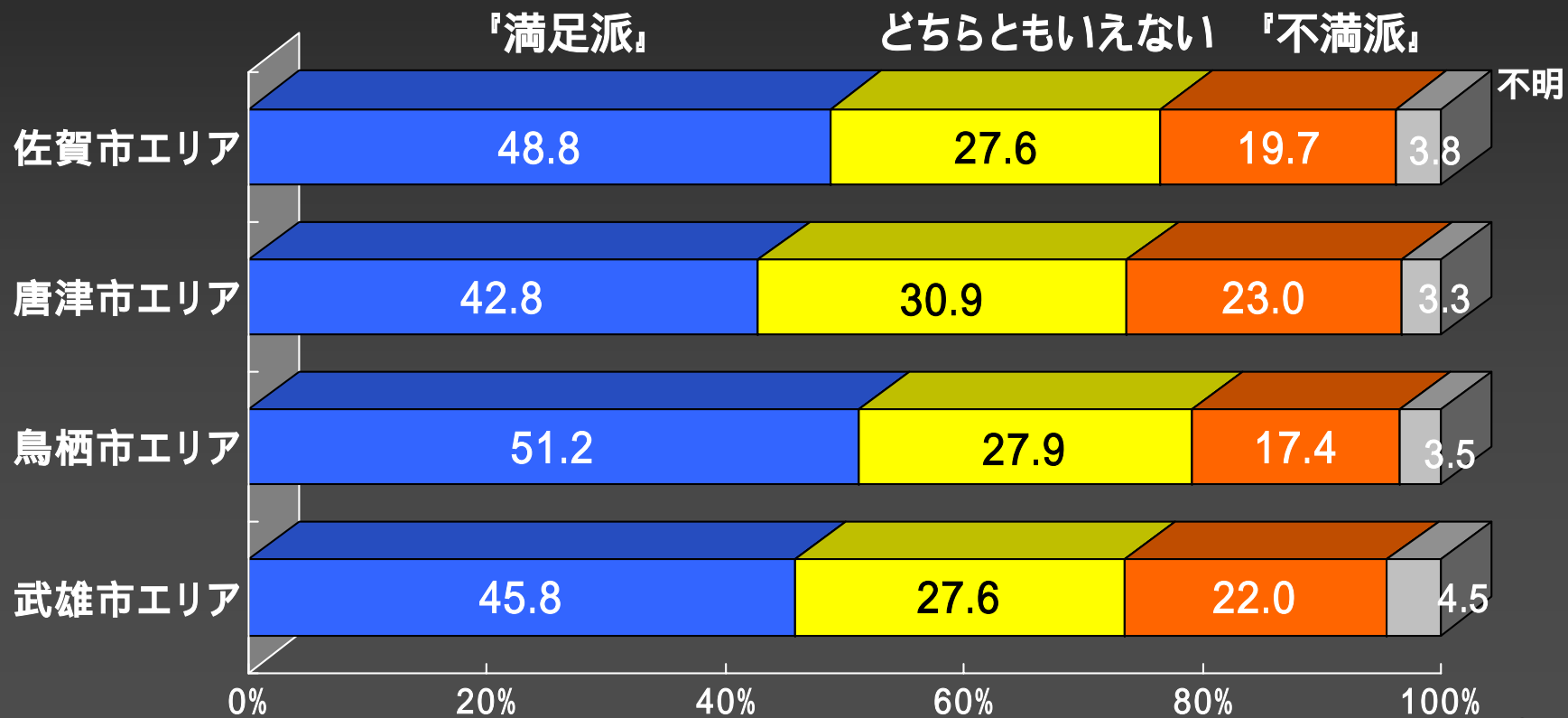
1 佐賀県での暮らしの総合満足度

- ほとんどの年代で『満足派』は約5割である。
- 50代だけ『満足派』が約4割となっている。



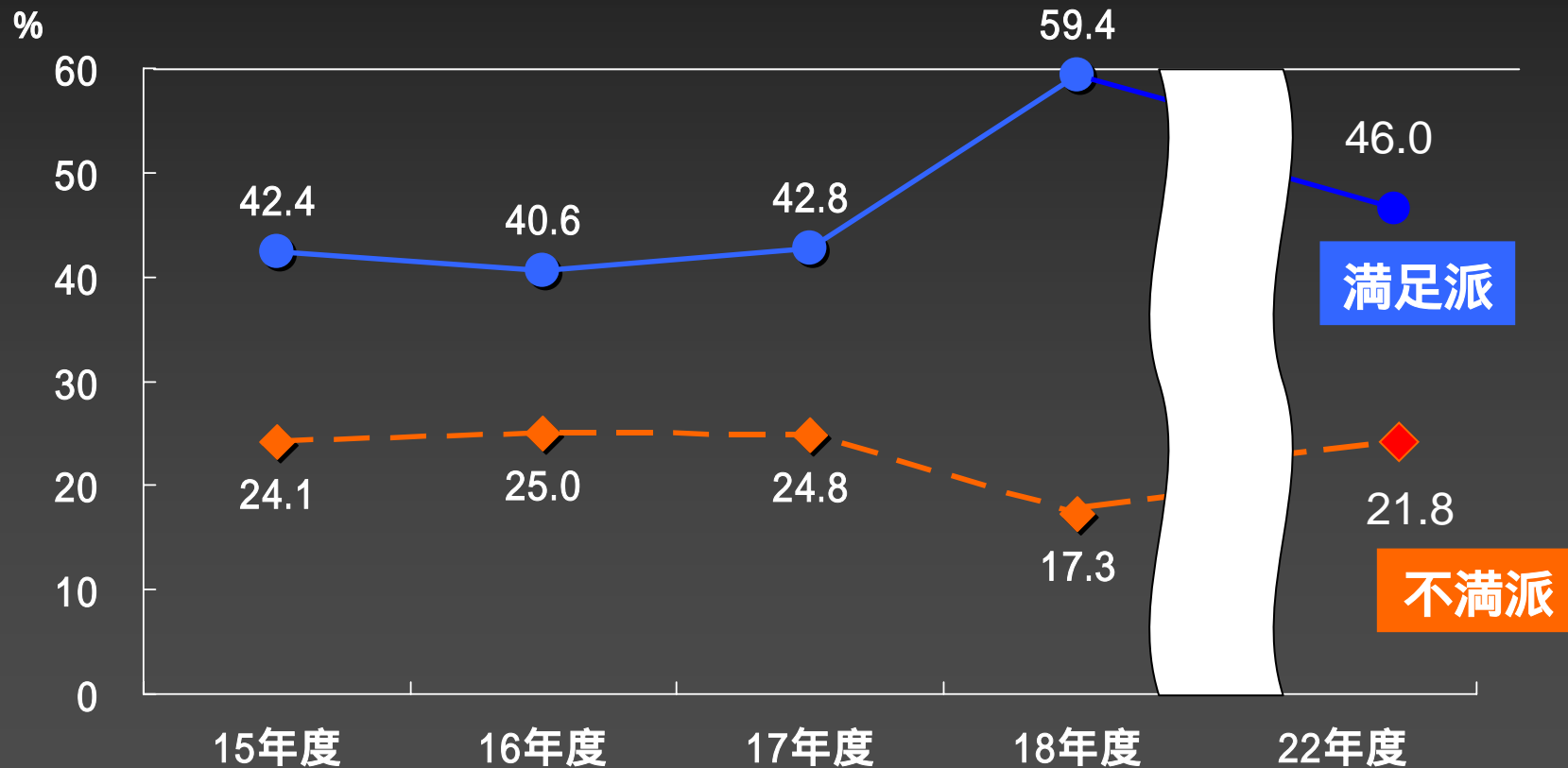
1 佐賀県での暮らしの総合満足度 ～ 4エリア別～

- 佐賀市エリア(48.8%)、唐津市エリア(42.8%)および武雄市エリア(45.8%)は軒並み40%代となっている。
鳥栖市エリア(51.2%)は、唯一5割を超えている。



佐賀県でのくらしの総合満足度の時系列比較 (20～64歳)

- 『満足派』が13.4ポイント低下し、『不満派』が4.5ポイント上昇したため、42.1ポイント差から24.2ポイント差に縮まった。

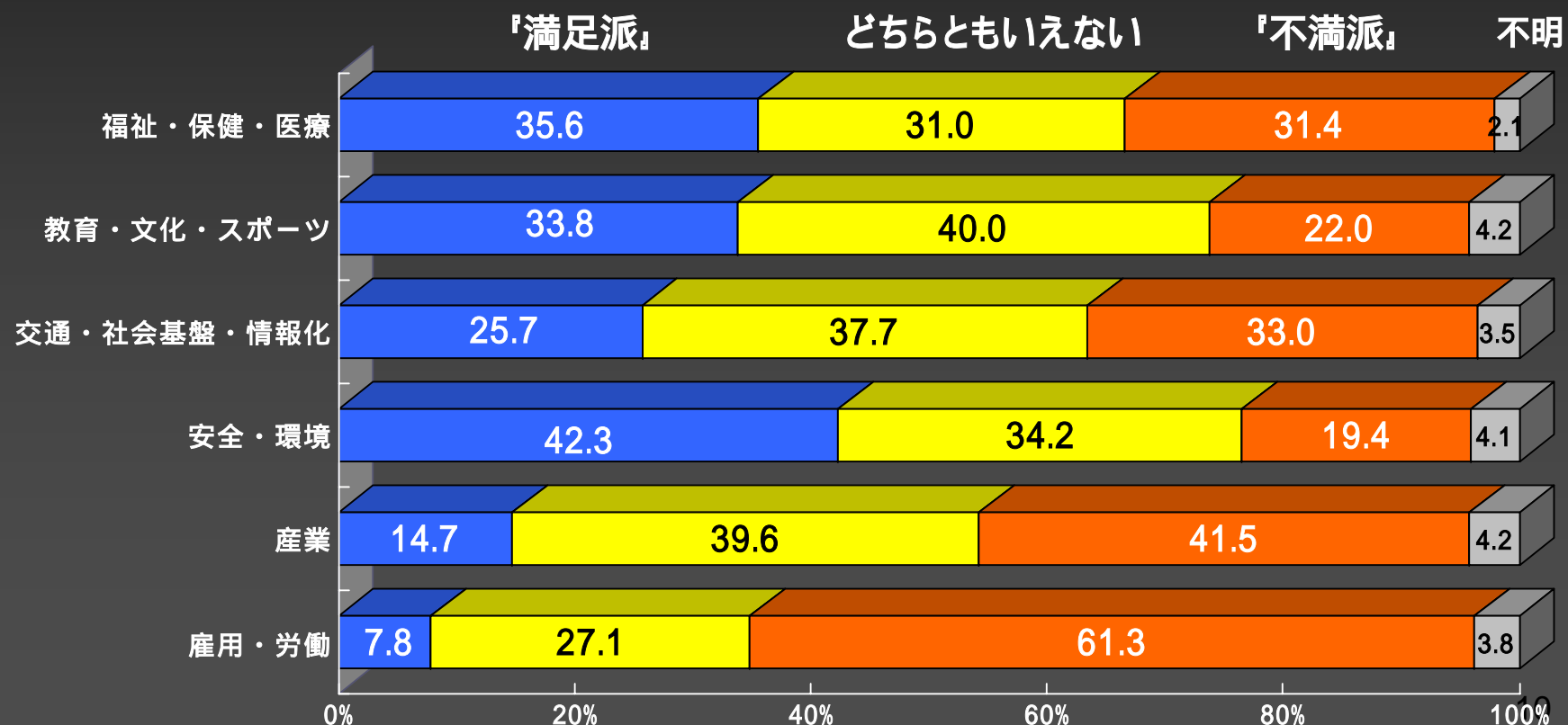


過去の調査結果との経年比較は、各年度の調査手法や調査対象年齢が異なるため、共通する年代層(20歳～64歳)で比較した。

第1章 暮らしの満足度・期待度

2 暮らしの各分野についての満足度

- 『満足派』は、「安全・環境」、「福祉・保健・医療」、「教育・文化・スポーツ」の順に高く、これら3項目は『満足派』が『不満派』を上回っている。
- 一方、「雇用・労働」、「産業」、「交通基盤・社会基盤・情報化」では、『不満派』が上回っており、特に「雇用・労働」は『不満派』が6割を超えている。

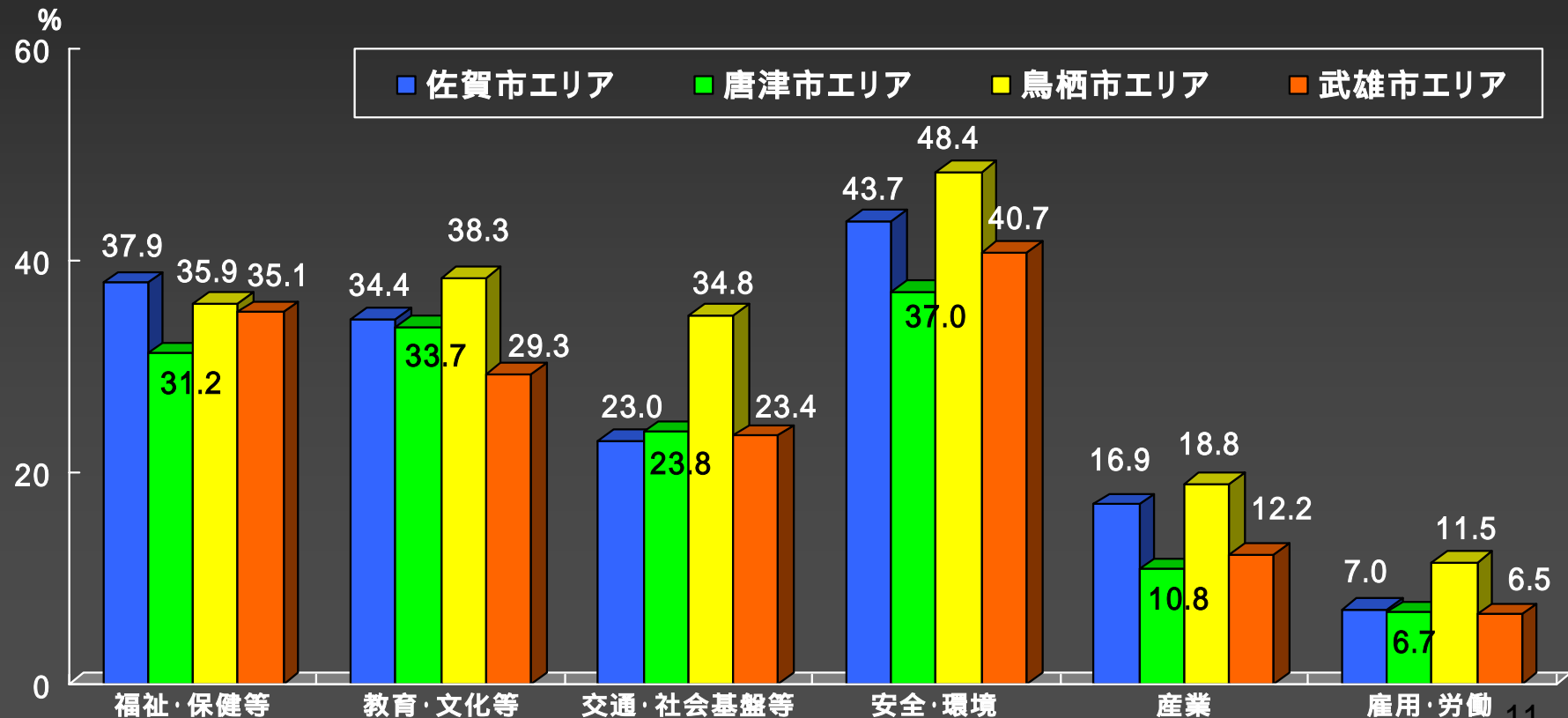


第1章 くらしの満足度・期待度

2 くらしの各分野についての満足度

～4エリア別～

- 「福祉・保健等」を除く5分野で、鳥栖市エリアの満足度が最も高くなっている。
- 唐津市エリアは、「交通・社会基盤等」をのぞく5分野で満足度が最も低くなっている。

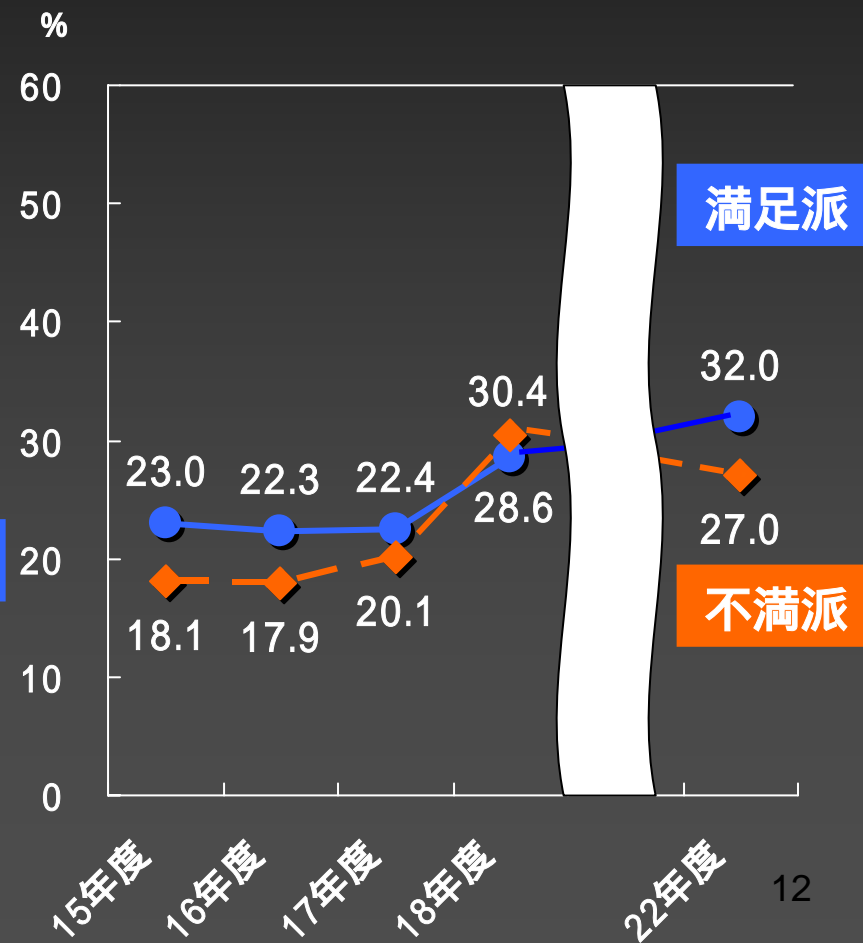
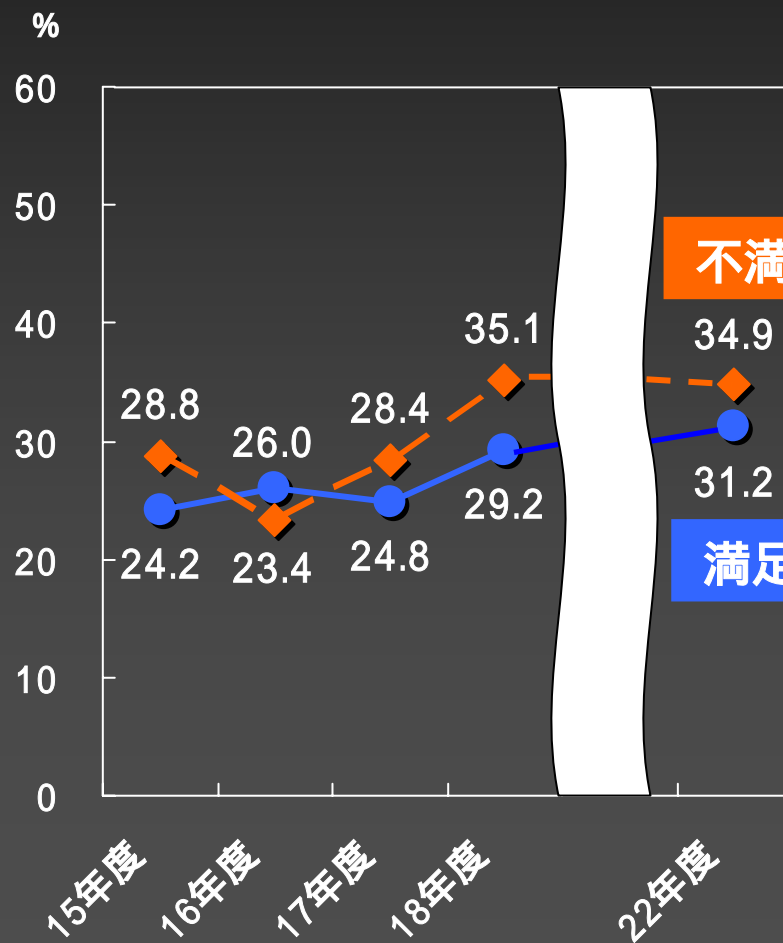


暮らしの各分野についての満足度の時系列比較 (20~64歳)

福祉・保健・医療

教育・文化・スポーツ

➤ 「満足派」は上昇し、「不満派」はほぼ横ばい。 ➤ 「満足派」が「不満派」を逆転した。

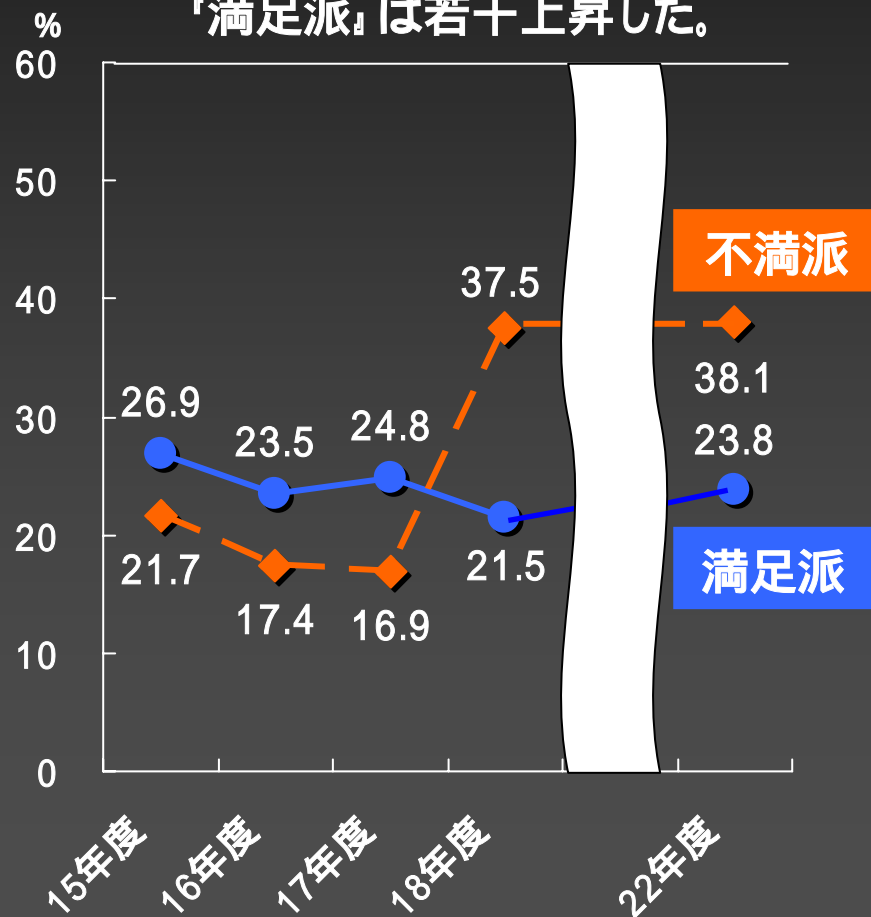


暮らしの各分野についての満足度の時系列比較

(20~64歳)

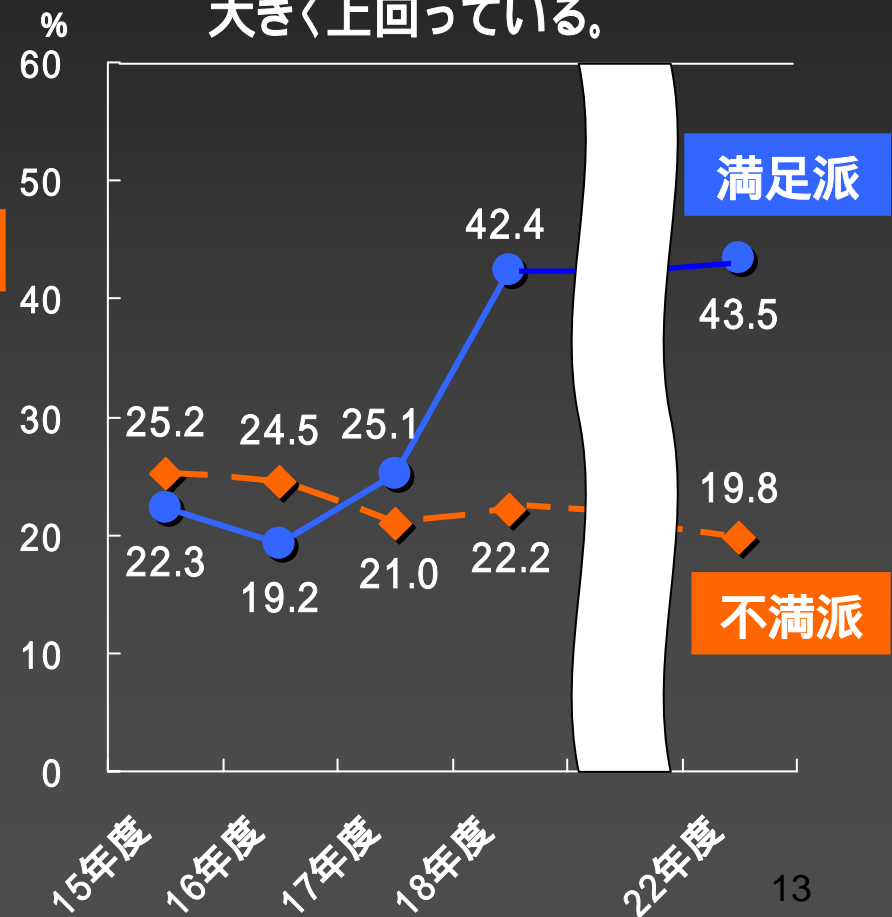
交通基盤・社会基盤・情報化

➤ 『不満派』はほぼ横ばいで、『満足派』は若干上昇した。



安全・環境

➤ 『満足派』が『不満派』を大きく上回っている。

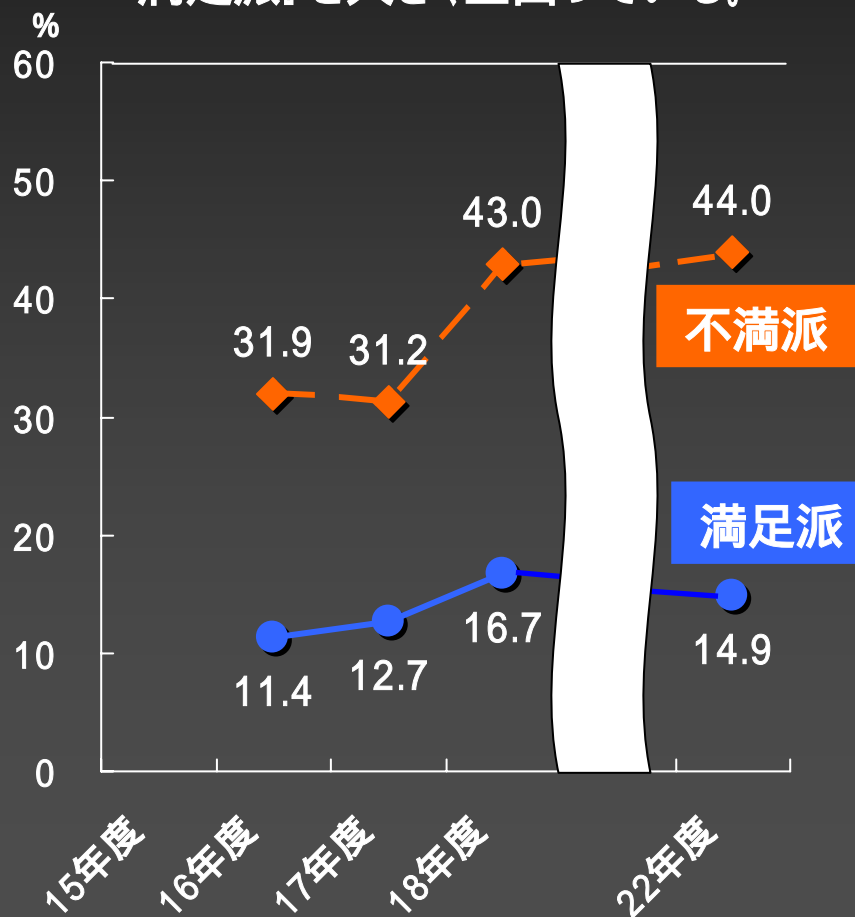


暮らしの各分野についての満足度の時系列比較

(20~64歳)

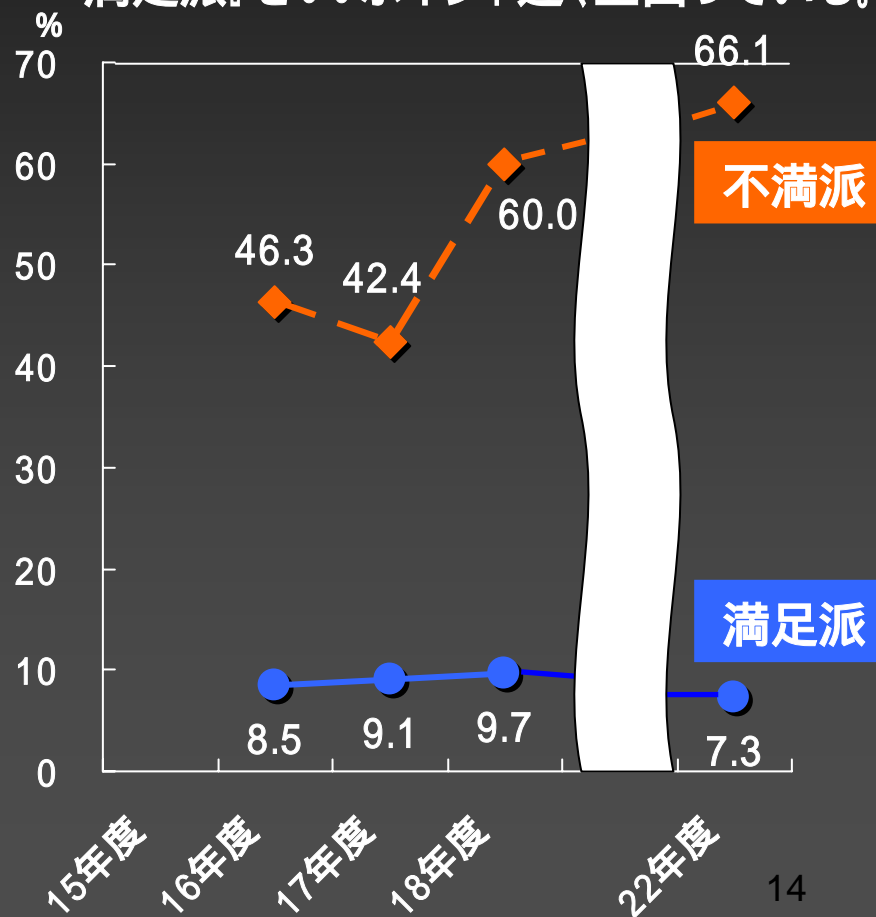
産業

➤ 『不満派』が若干上昇し、依然『満足派』を大きく上回っている。



雇用・労働

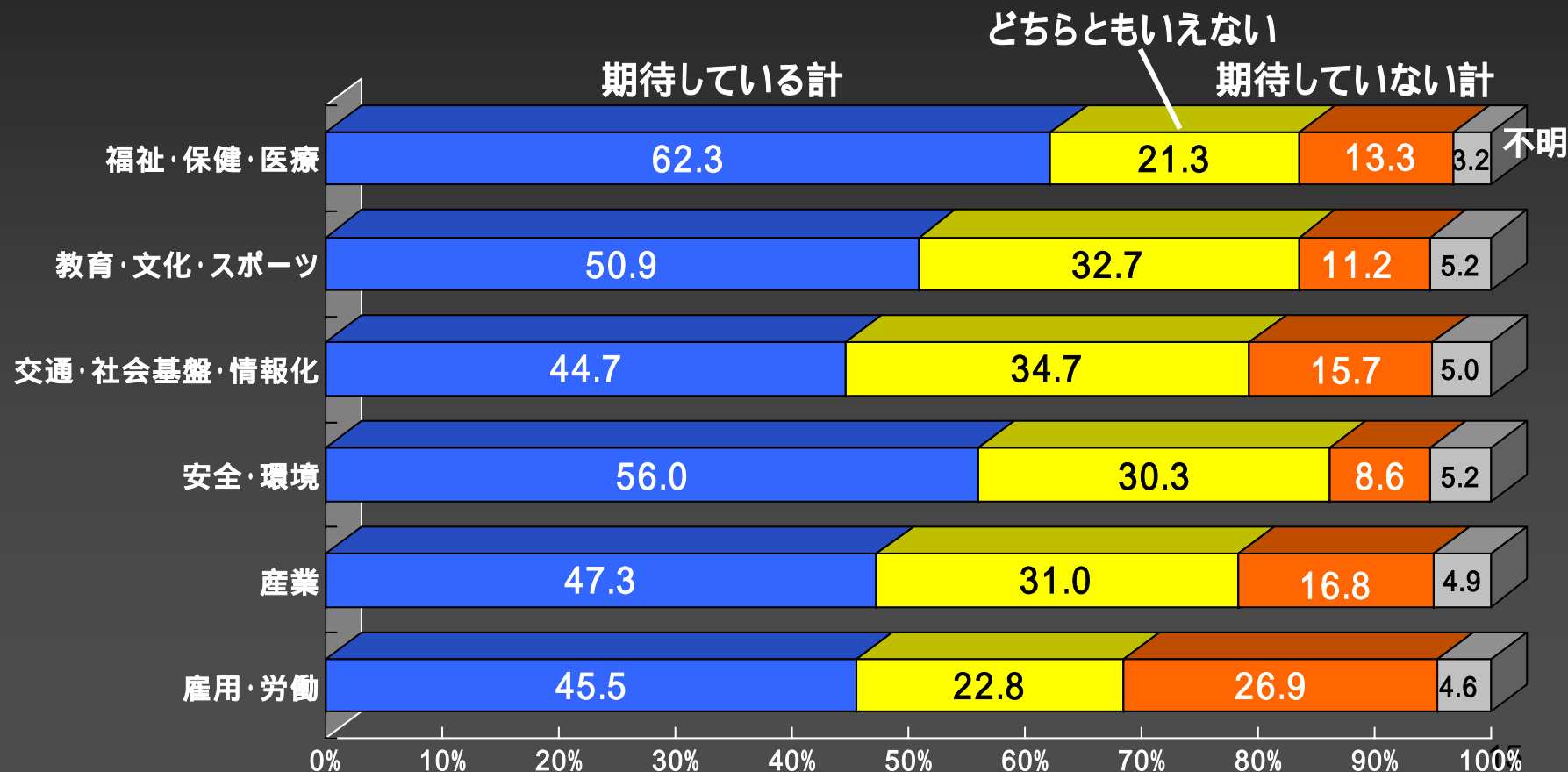
➤ 『不満派』が6ポイント上昇し、『満足派』を60ポイント近く上回っている。



第1章 暮らしの満足度・期待度

3 暮らしの各分野についての県に対する期待度

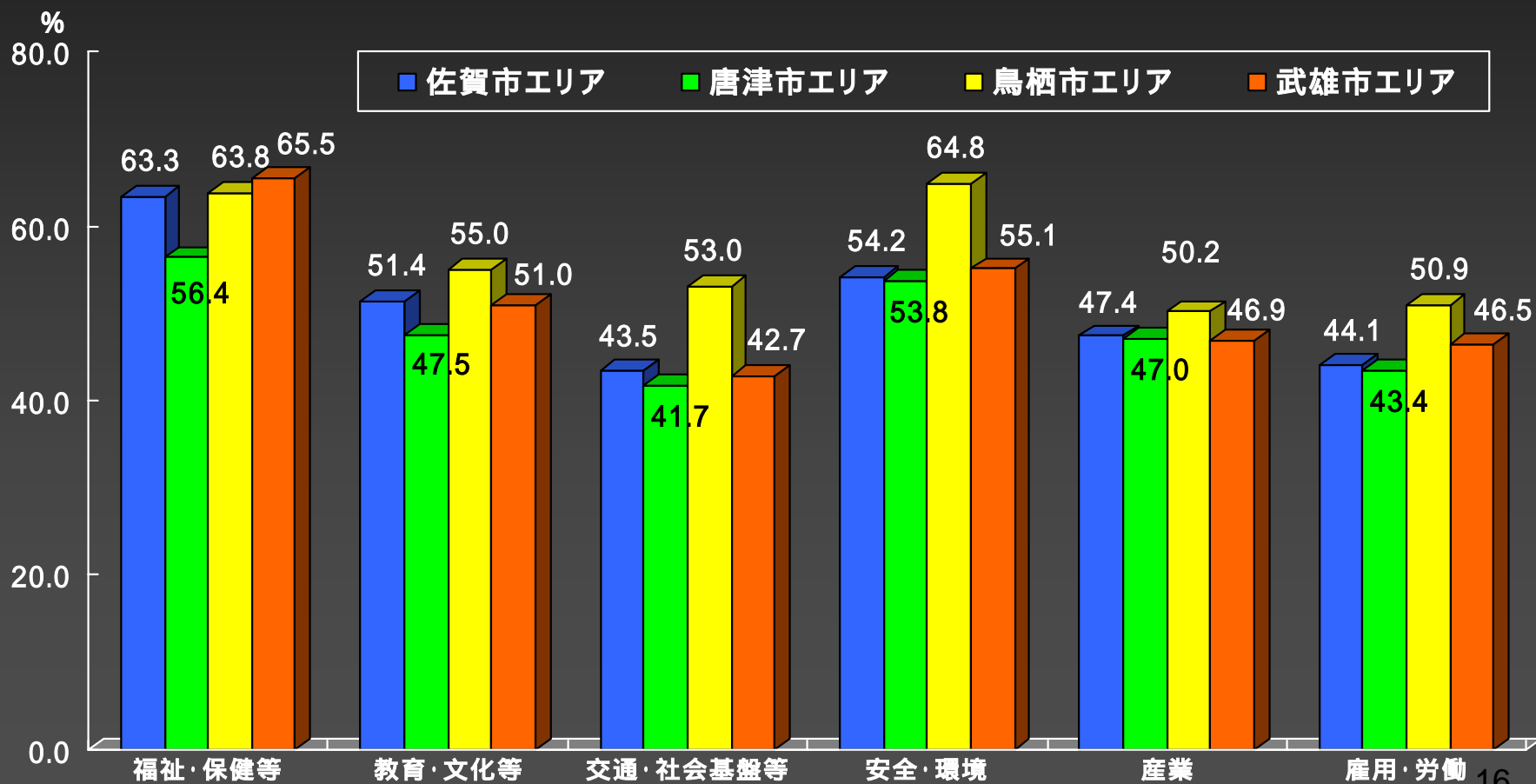
- 『期待している計』は、「福祉・保健・医療」、「安全・環境」の順に高くなっている。
- 『期待していない計』は、「雇用・労働」で最も高くなっている。
(なお、『期待していない計』の内訳の大半は「期待しても無理」)



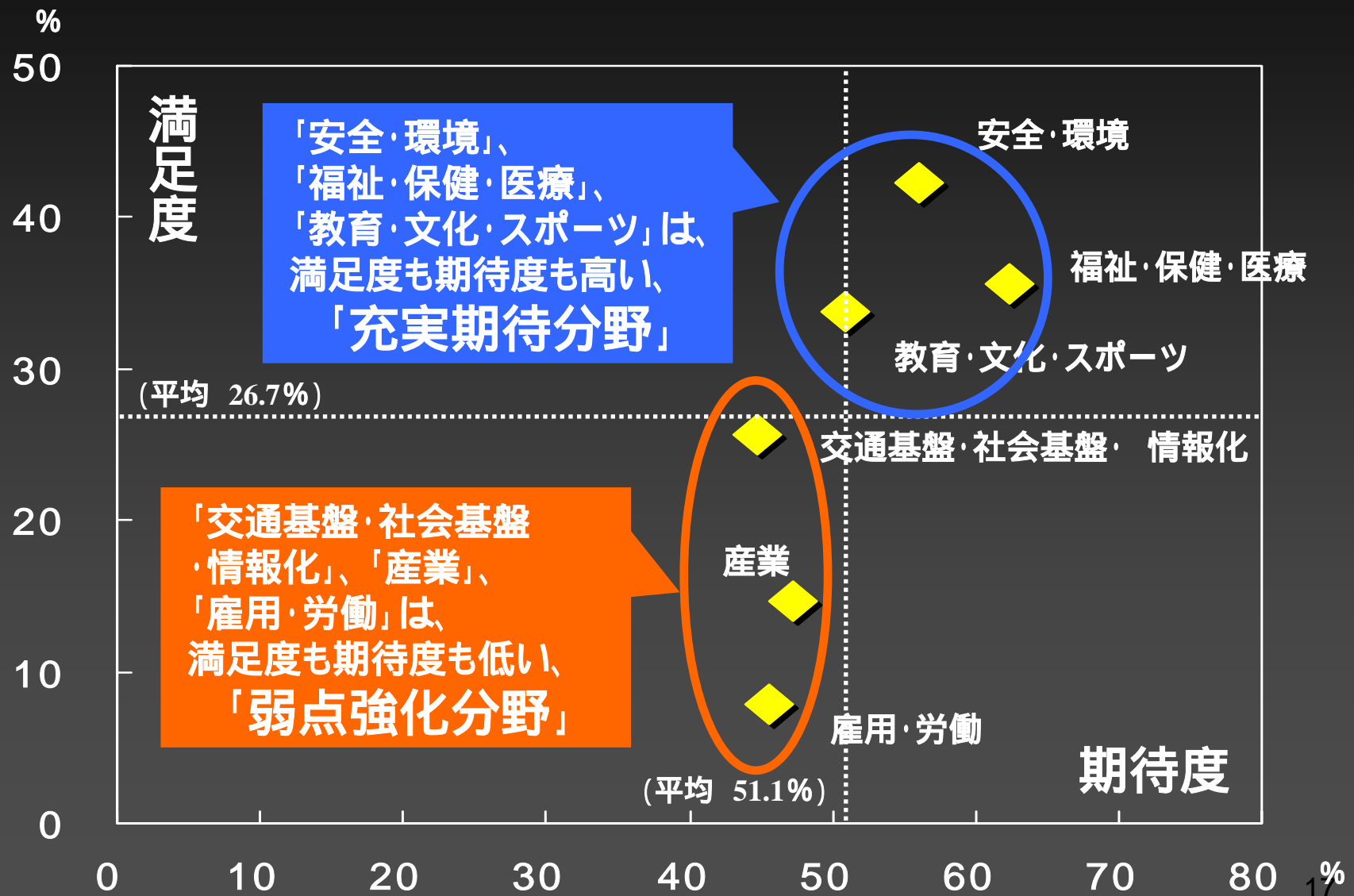
第1章 暮らしの満足度・期待度

3 暮らしの各分野についての県に対する期待度 ～ 4エリア別～

- 鳥栖エリアは「福祉・保健・医療」を除く、5つの分野で期待度が最も高い。
- 唐津市エリアは、「産業」を除く5つの分野で期待度が最も低い。



4 暮らしの各分野についての満足度と期待度の関連



第2章 くらしの各分野に対する実感

1. 「福祉・保健・医療」分野
 - ・安心して子育てができる環境について など
2. 「教育・文化・スポーツ」分野
 - ・子ども一人ひとりの目標や課題に応じた教育環境について など
3. 「交通基盤・社会基盤・情報化」分野
 - ・人や物、情報の交流がスムーズにできる環境について など
4. 「安全・環境」分野
 - ・安心して消費生活を送ることができる環境について など
5. 「産業」分野
 - ・県内の農林水産業の活気について など
6. 「雇用・労働」分野
 - ・だれもが意欲と能力に応じて働ける環境について
7. 「その他一般」分野
 - ・だれもが社会で個性や能力を発揮できる環境について

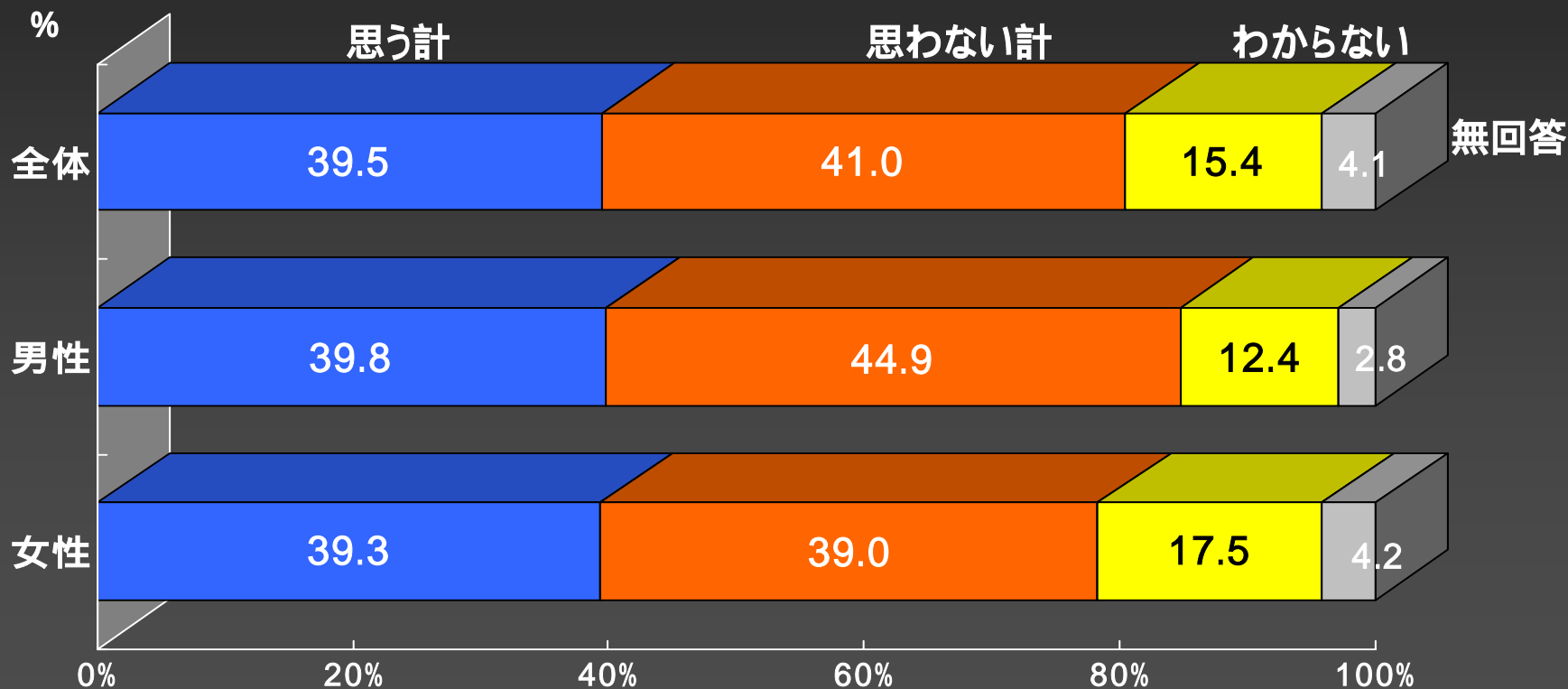
1. 「福祉・保健・医療」分野

- (1) 安心して子育てができる環境について
- (2) だれもが地域で暮らすことができる環境について
- (3) 健康的な生活を送ることができる環境について
- (4) 安心して医療を受けられる環境について

1. 「福祉・保健・医療」分野

(1) 安心して子育てができる環境になっているか

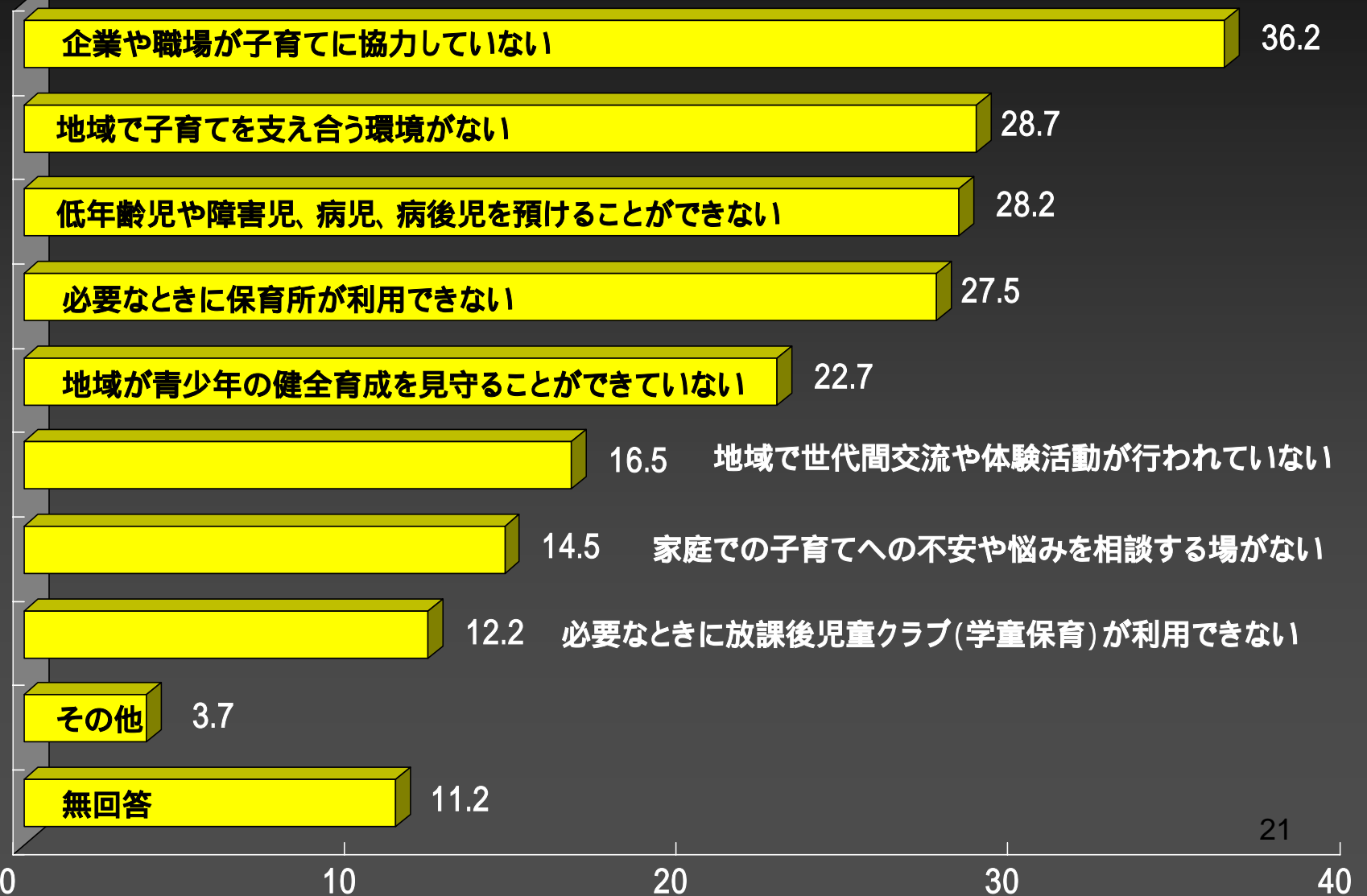
- 全体では「思わない計」が「思う計」を若干上回っている。
- 「思う計」は男性の方がやや高いが、「思わない計」は男性(44.9%)が女性(39.0%)を上回っている。



1. 「福祉・保健・医療」分野

(1) 安心して子育てができる環境になっていないと思う理由

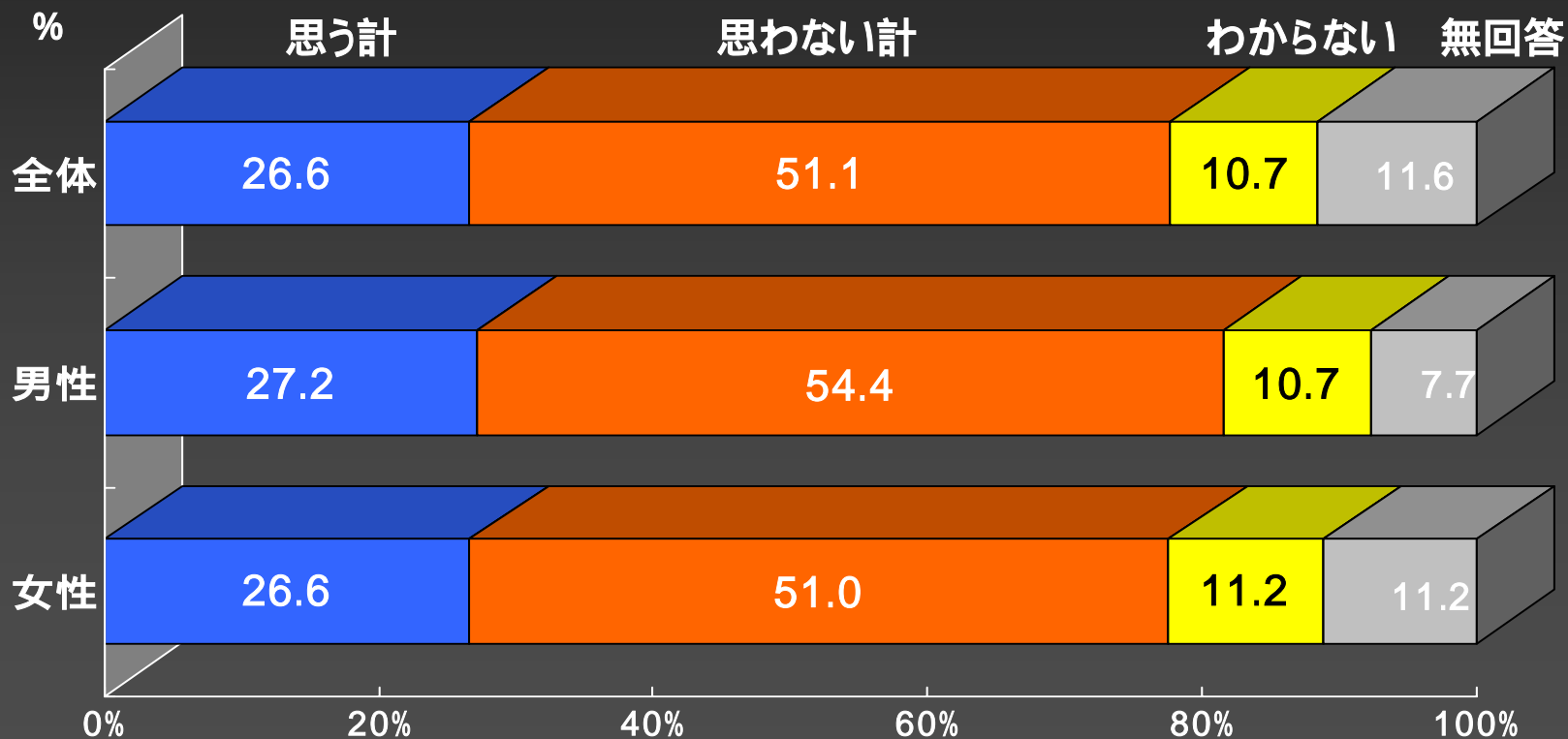
➤ 「企業や職場が子育てに協力していない」が36.2%と最も高くなっている。



1. 「福祉・保健・医療」分野

(2) だれもが地域で暮らすことができる環境になっているか

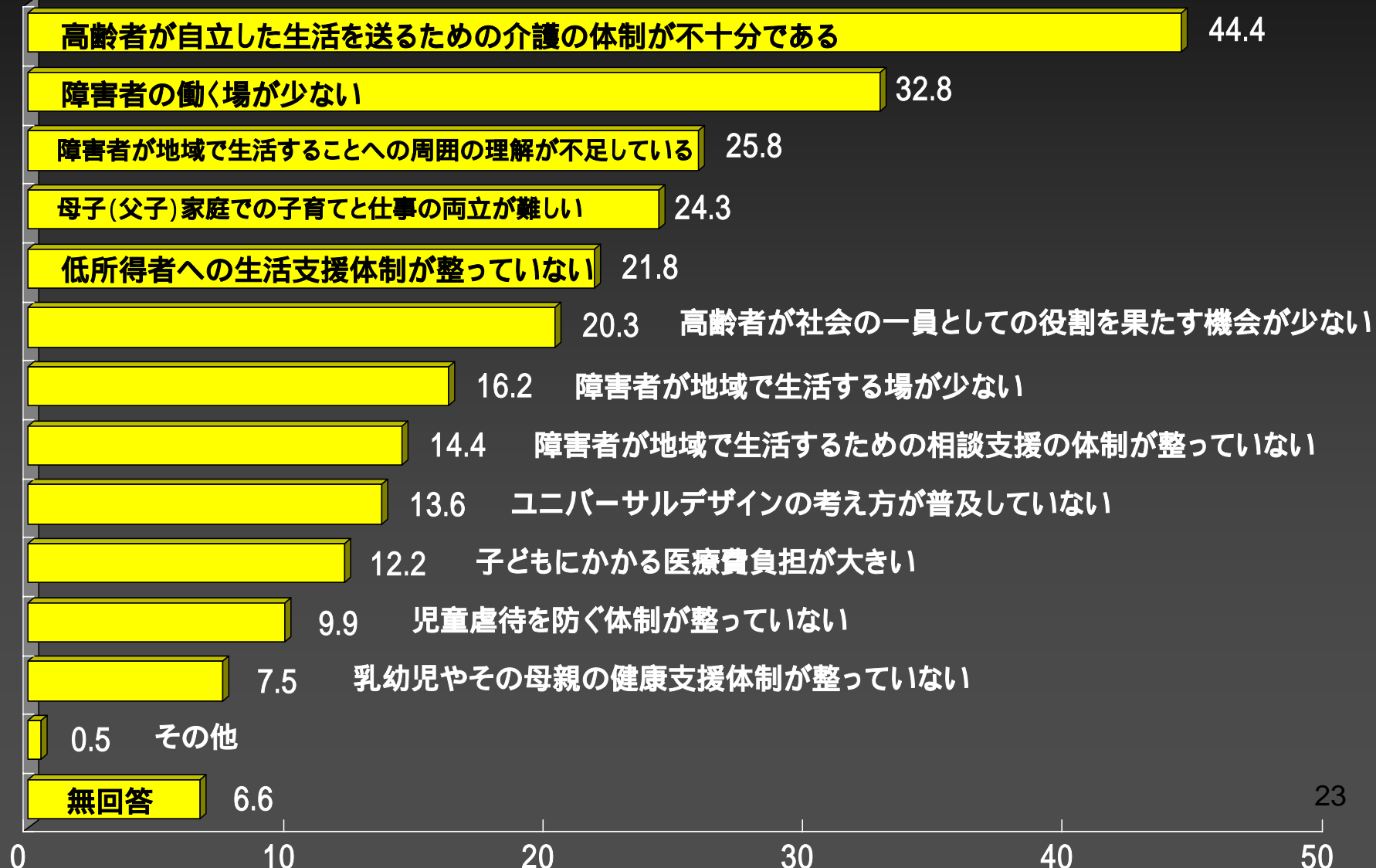
- 全体では「思わない計」が「思う計」の約2倍と大きく上回っている。
- 「思う計」は男性の方がやや高い。(男性:27.2%、女性:26.6%)



1. 「福祉・保健・医療」分野

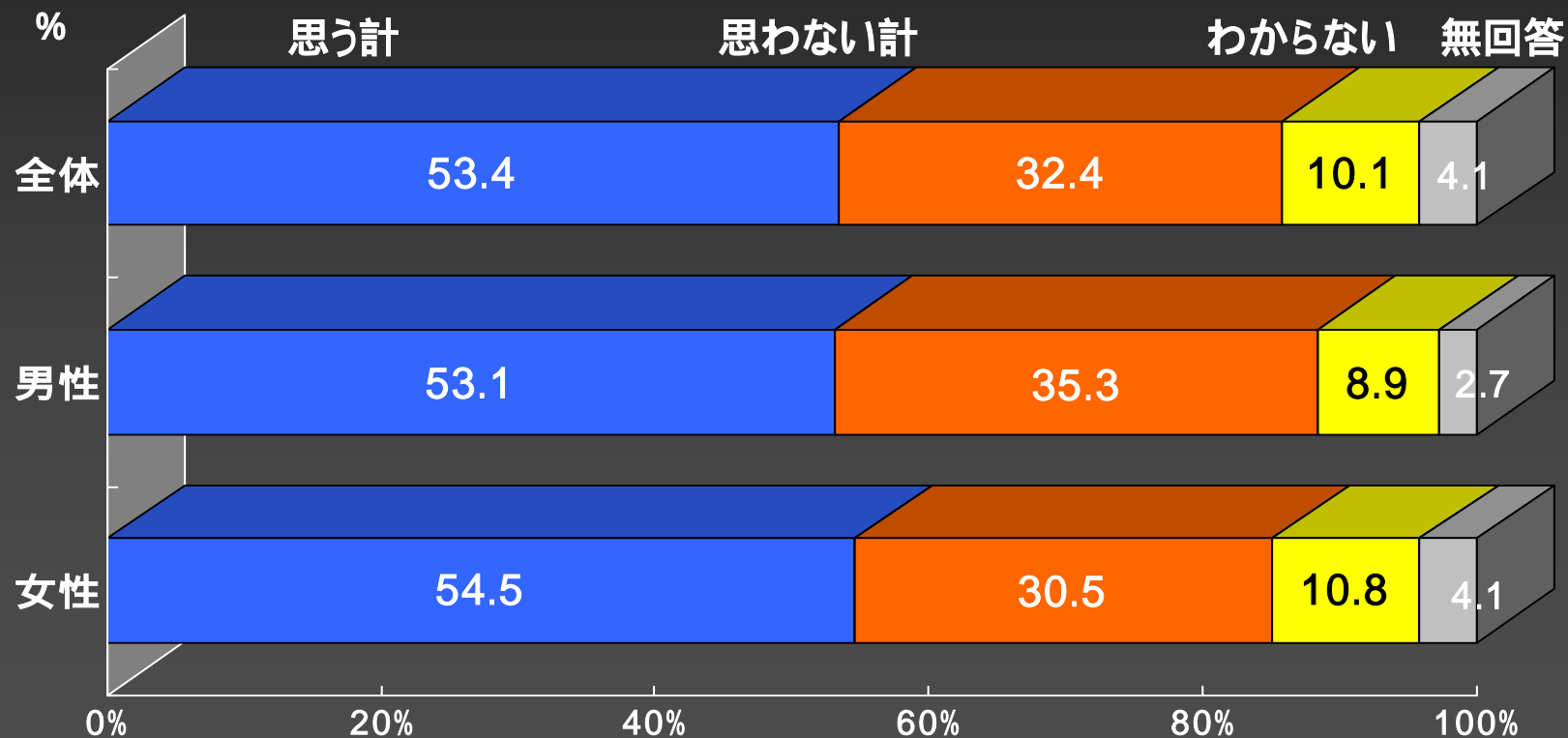
(2) だれもが地域で暮らすことができる環境になっていないと思う理由

➤ 「高齢者が自立した生活を送るための介護の体制が不十分」が44.4%と最も高くなっている。



(3) 健康的な生活を送ることができる環境になっているか

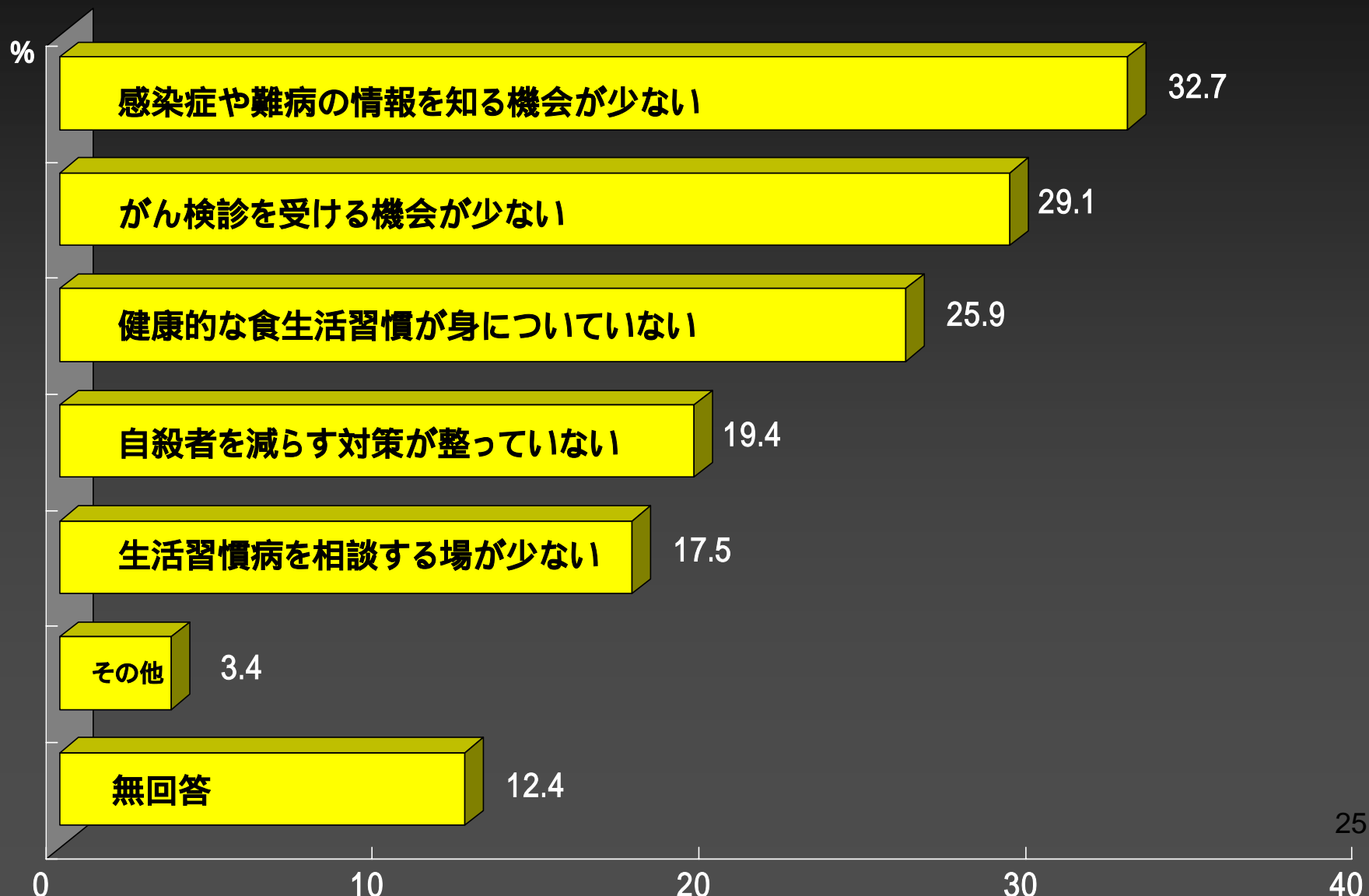
- 全体では「思う計」が53.4%と半数を超えている。
- 「思わない計」は32.4%で「思う計」が大きく上回っている。



1. 「福祉・保健・医療」分野

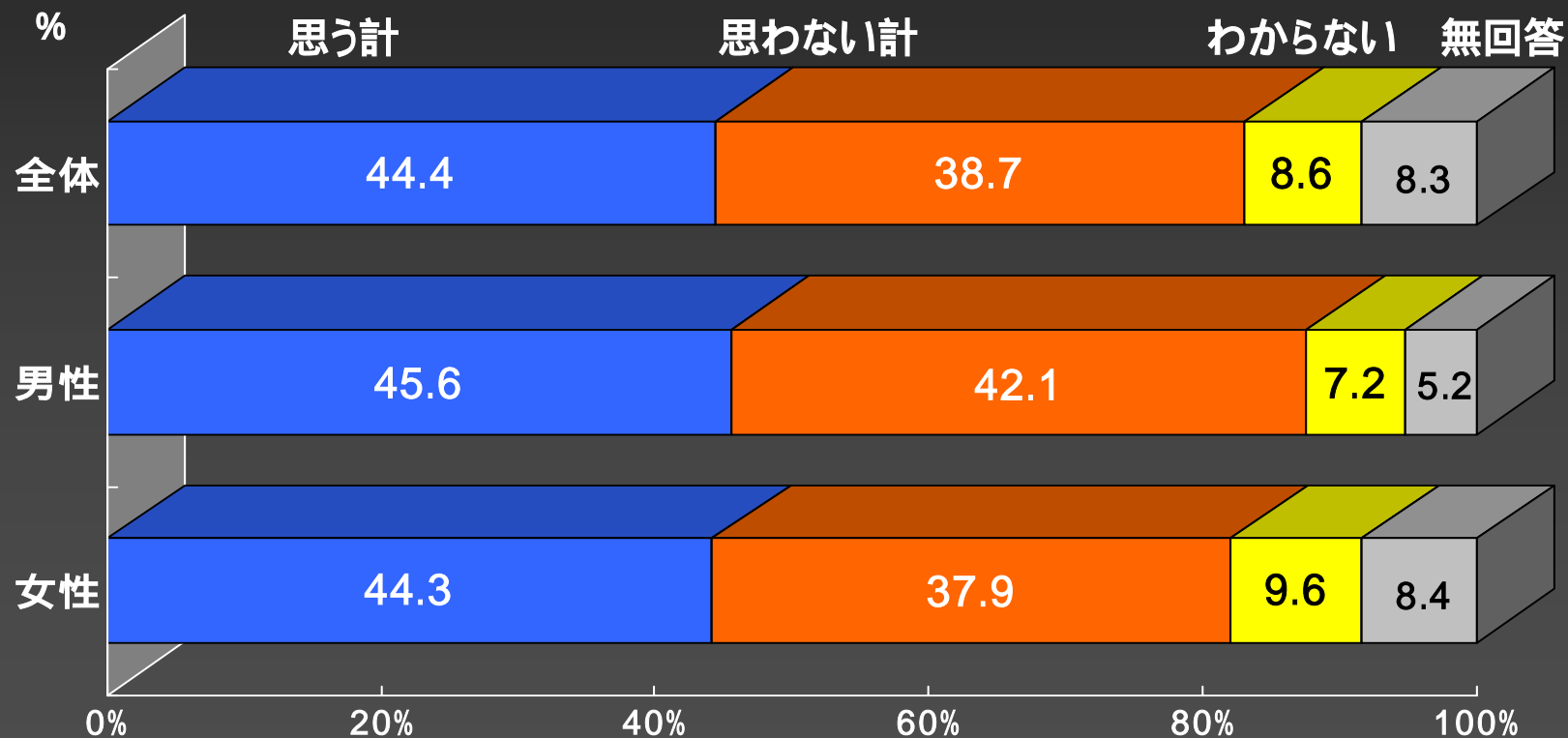
(3) 健康的な生活を送ることができる環境になっていないと思う理由

➤「感染症や難病の情報を知る機会が少ない」が32.7%と最も高くなっている。



(4) 安心して医療を受けられる環境になっているか

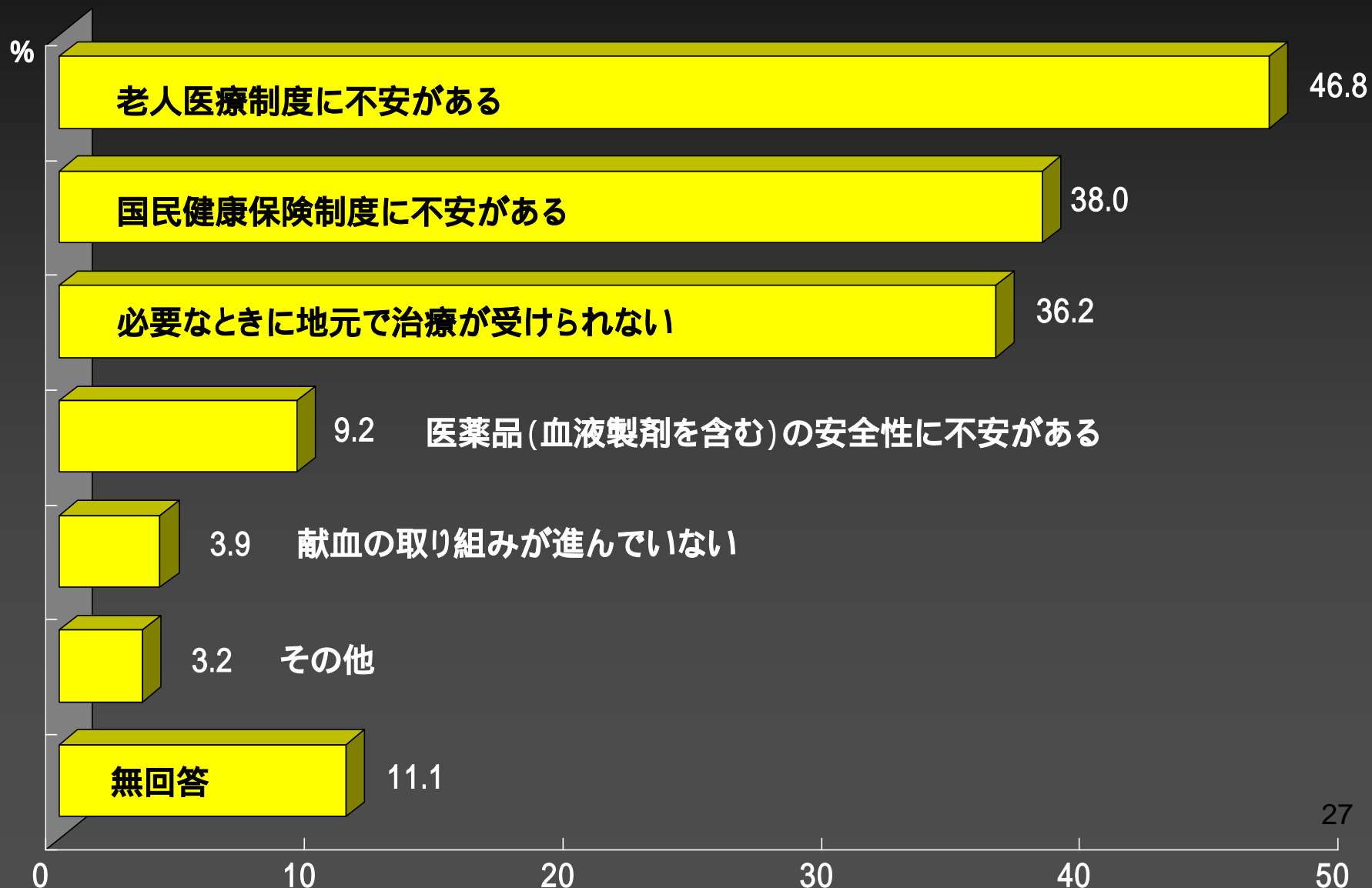
- 全体では「思う計」が44.4%と4割強となっている。
- 「思わない計」は38.7%と4割弱となっている。



1. 「福祉・保健・医療」分野

(4) 安心して医療を受けられる環境になっていないと思う理由

➤ 「老人医療制度に不安がある」が46.8%と最も高くなっている。



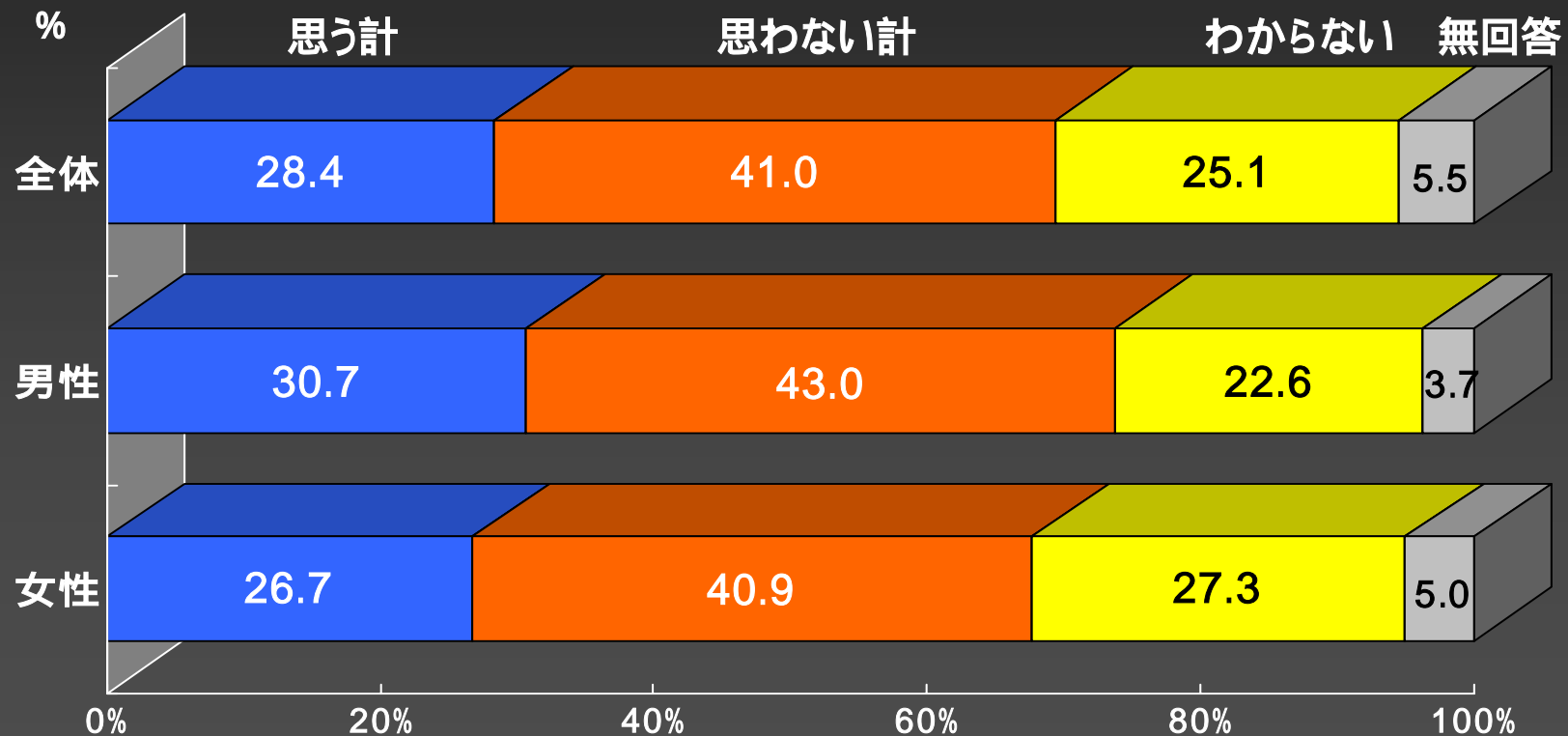
2. 「教育・文化・スポーツ」分野

- (1) 子ども一人ひとりの目標や課題に応じた教育環境について
- (2) 多様な文化・歴史にふれることができる環境について
- (3) 生涯学習のできる環境について
- (4) スポーツに親しめる環境について

2. 「教育・文化・スポーツ」分野

(1) 子ども一人ひとりの目標や課題に応じた教育環境になっているか

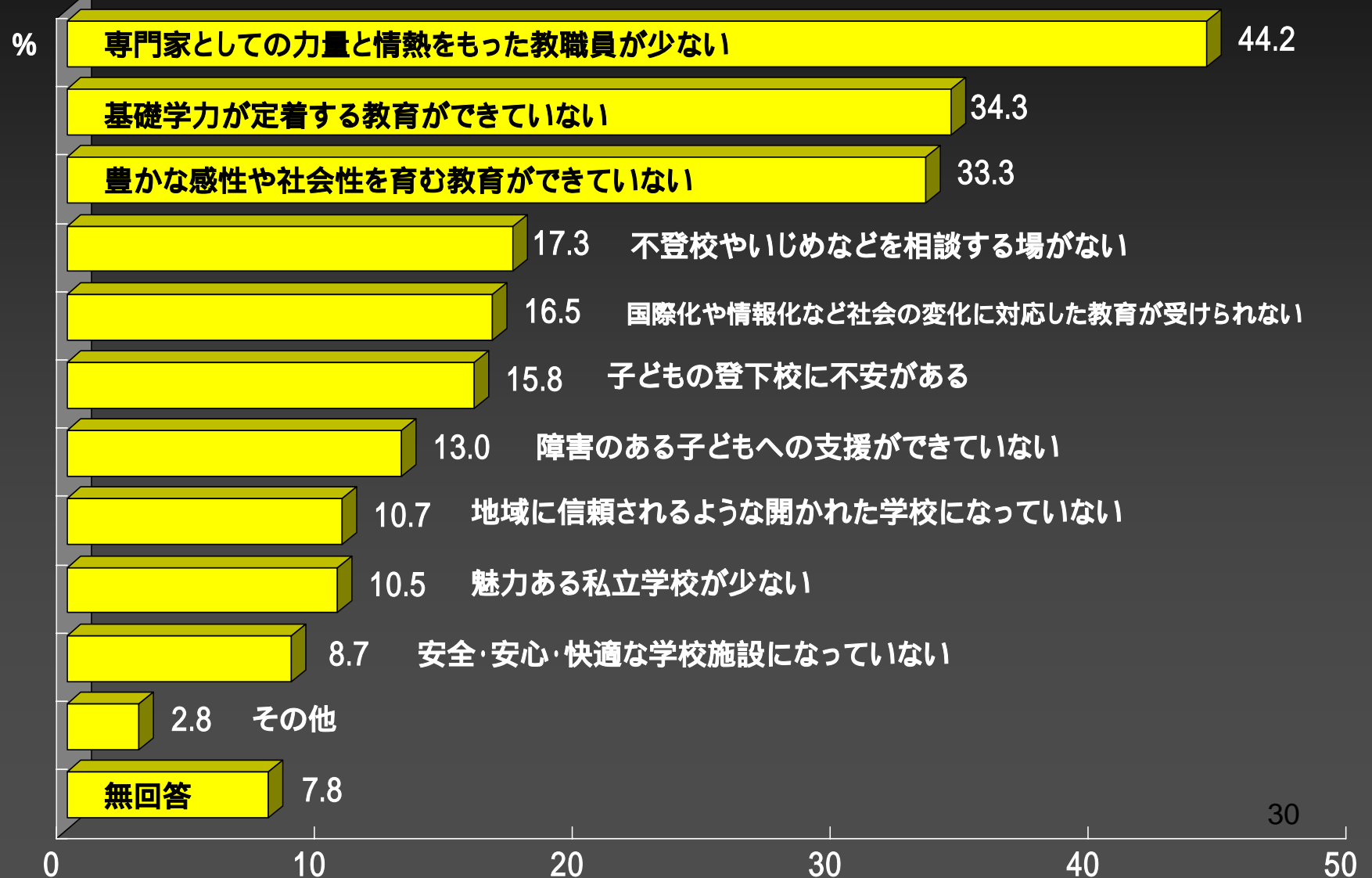
- 全体では「思う計」が28.4%と3割弱にとどまっている。
- 「思わない計」は41.0%と「思う計」を大きく上回っている。



2. 「教育・文化・スポーツ」分野

(1) 子ども一人ひとりの目標や課題に応じた教育環境になっていないと思う理由

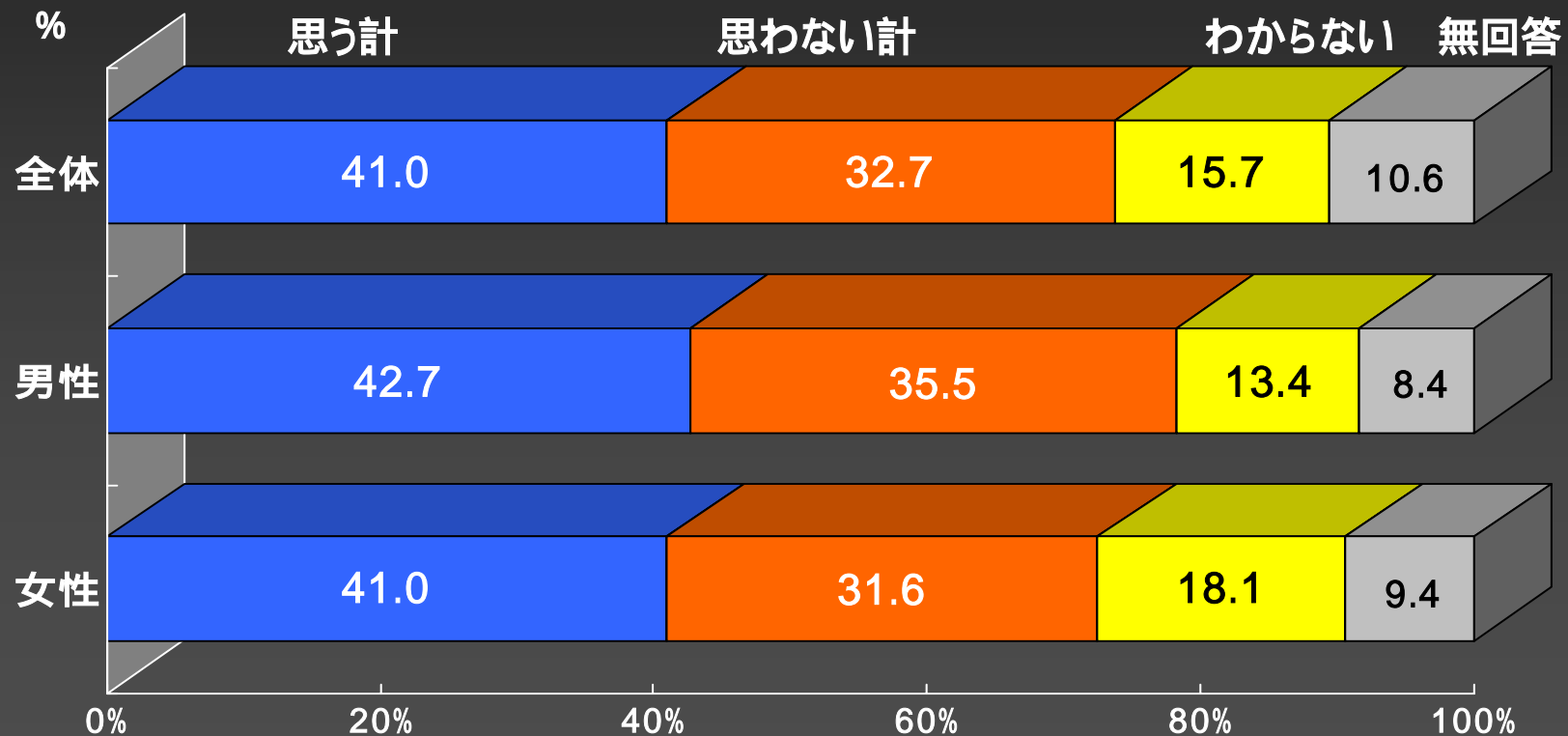
➤「専門家としての力量と情熱をもった教職員が少ない」が44.2%と最も高くなっている。



2. 「教育・文化・スポーツ」分野

(2) 多様な文化・歴史にふれることができる環境になっているか

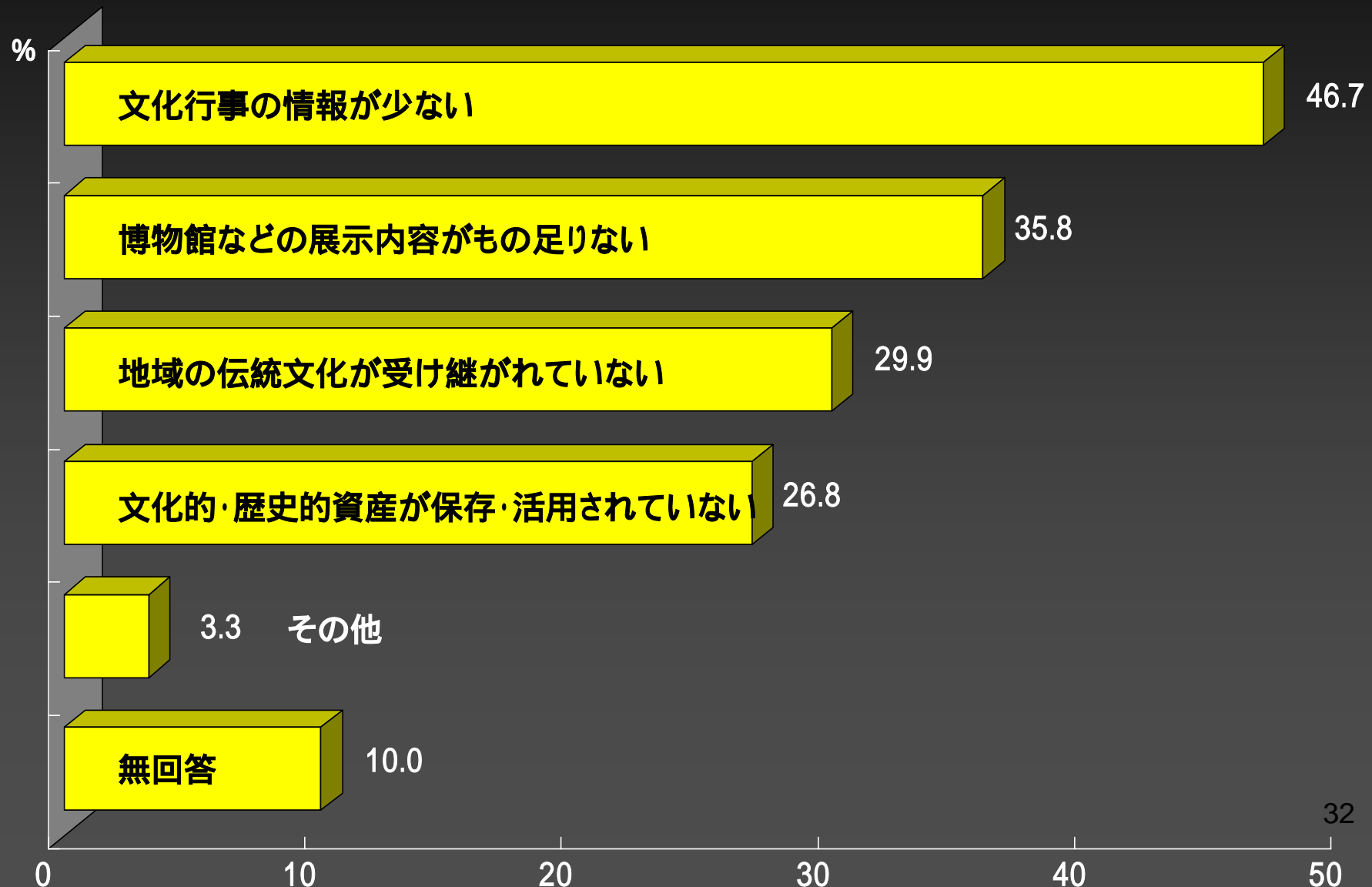
- 全体では「思う計」が41.0%と4割強となっている。
- 「思わない計」は32.7%と3割強となっている。



2. 「教育・文化・スポーツ」分野

(2) 多様な文化・歴史にふれることができる環境となっていないと思う理由

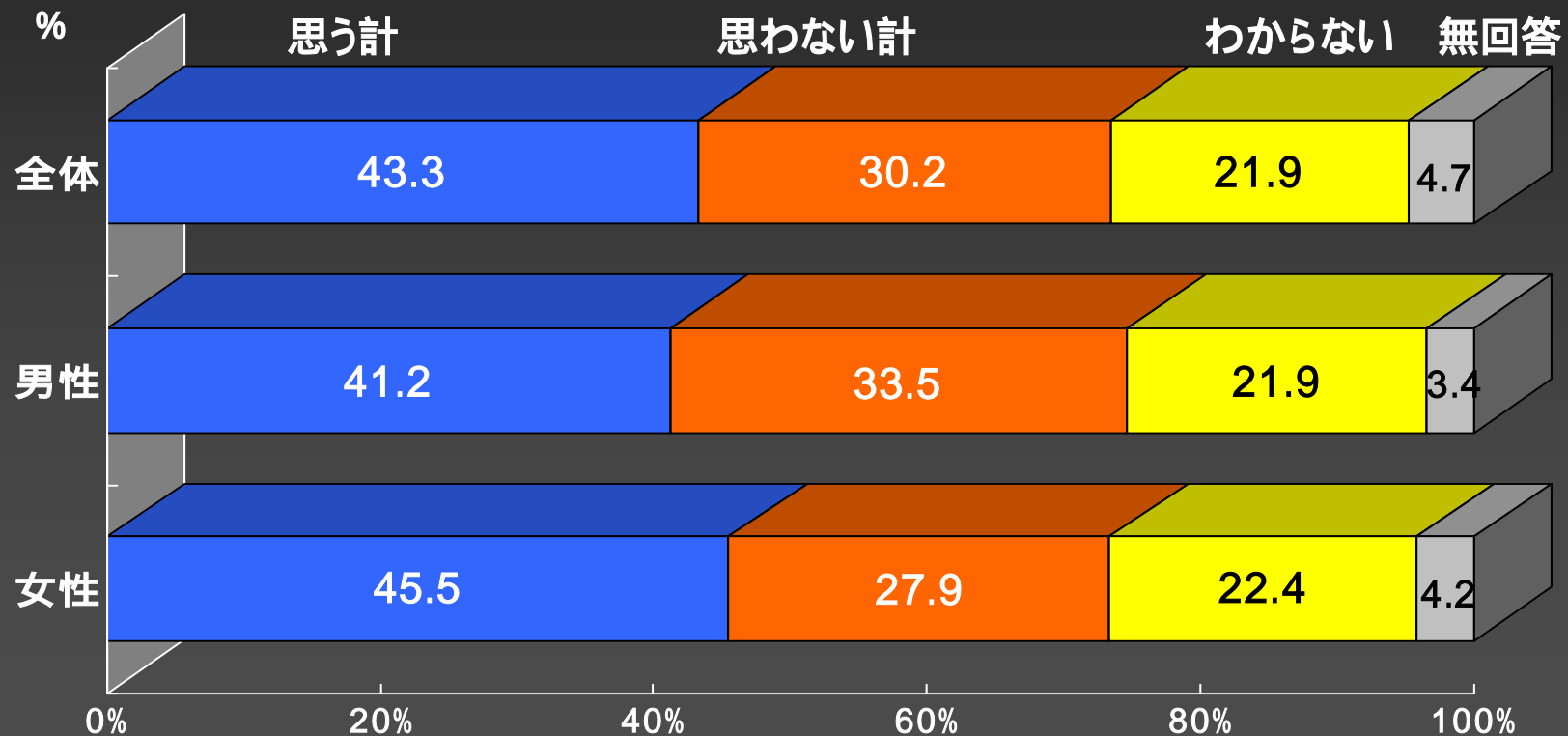
➤ 「文化行事の情報が少ない」が46.7%と最も高くなっている。



2. 「教育・文化・スポーツ」分野

(3) 生涯学習のできる環境になっているか

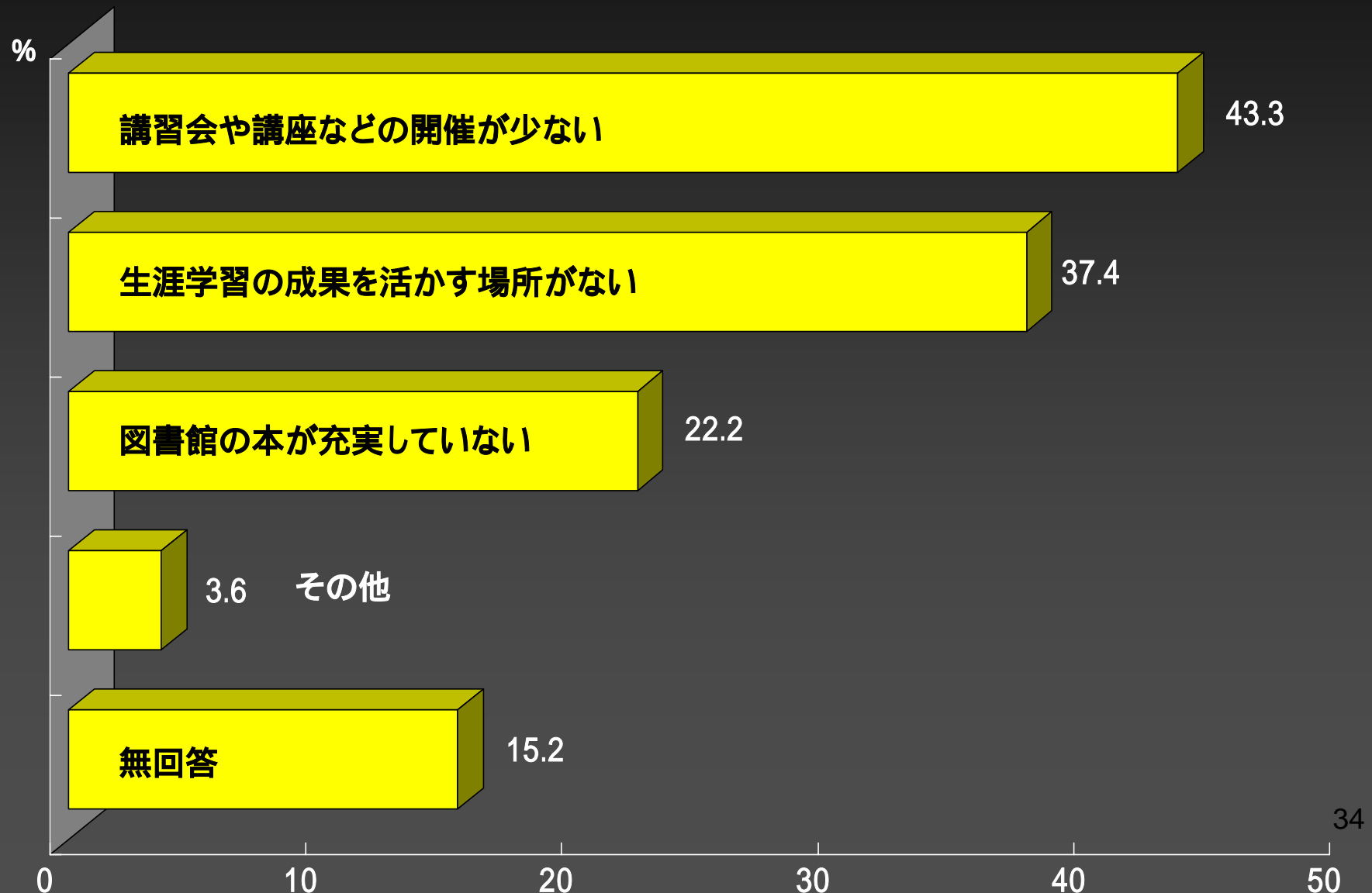
- 全体では「思う計」が43.3%と4割強となっている。
- 「思わない計」は3割となっている。



2. 「教育・文化・スポーツ」分野

(3) 生涯学習のできる環境となっていないと思う理由

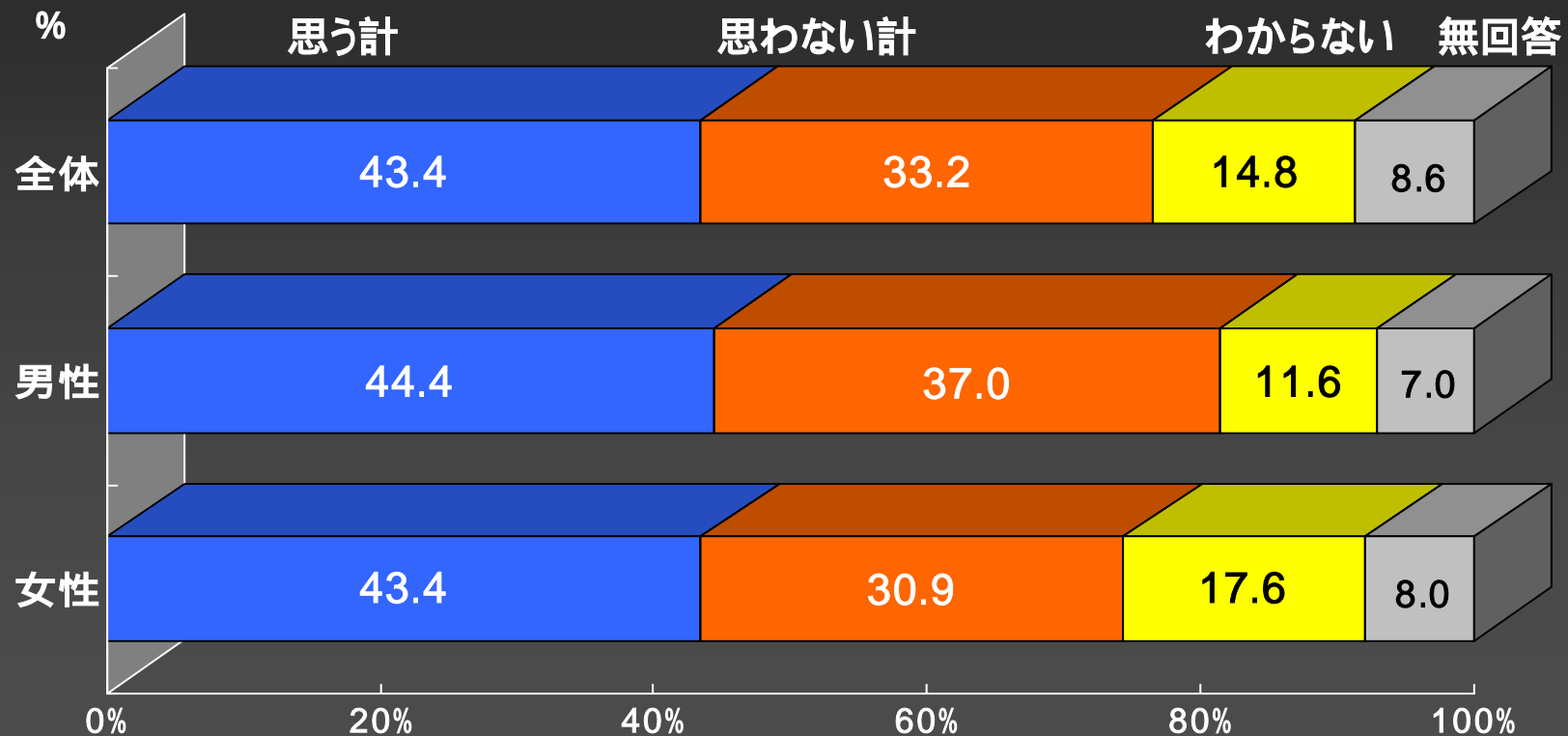
➤ 「講習会や講座などの開催が少ない」が43.3%と最も高くなっている。



2. 「教育・文化・スポーツ」分野

(4) スポーツに親しめる環境になっているか

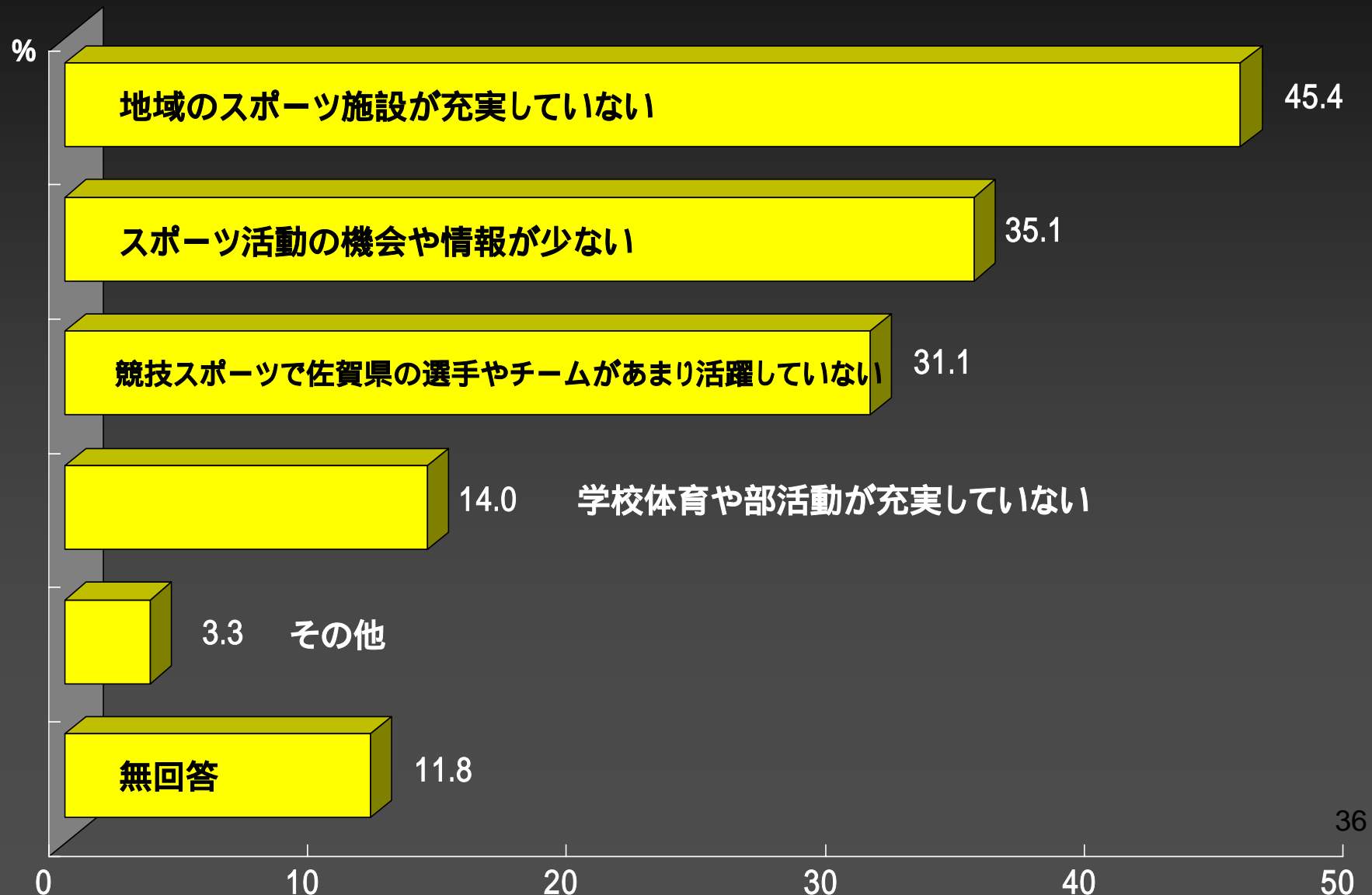
- 全体では「思う計」が43.4%と4割強となっている。
- 「思わない計」は33.2%となっている。



2. 「教育・文化・スポーツ」分野

(4) スポーツに楽しめる環境になっていないと思う理由

➤ 「地域のスポーツ施設が充実していない」が45.4%と最も高くなっている。



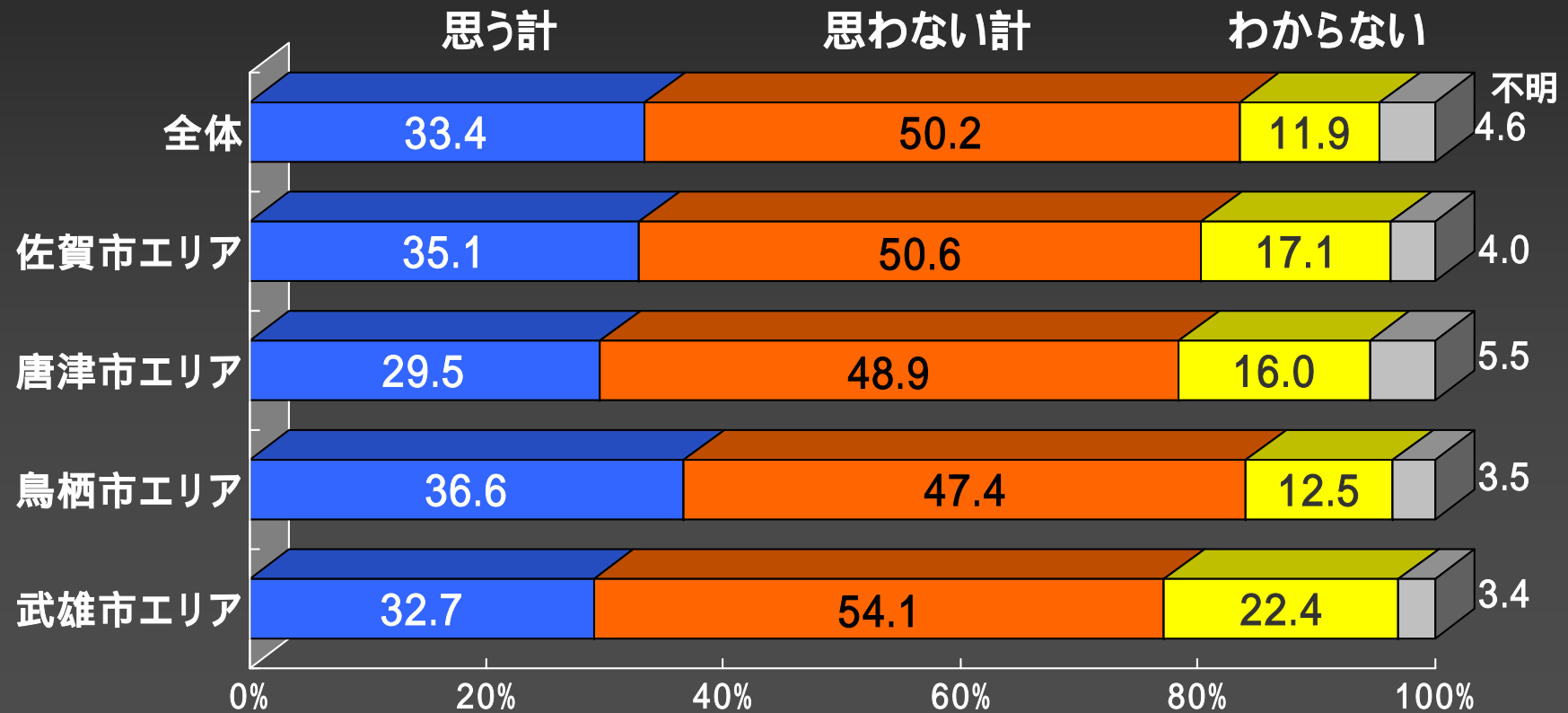
3. 「交通基盤・社会基盤・情報化」分野

- (1) 人や物、情報の交流がスムーズにできる環境について
- (2) 暮らしやすいまちについて

3. 「交通基盤・社会基盤・情報化」分野

(1) 人や物、情報の交流がスムーズにできる環境になっているか

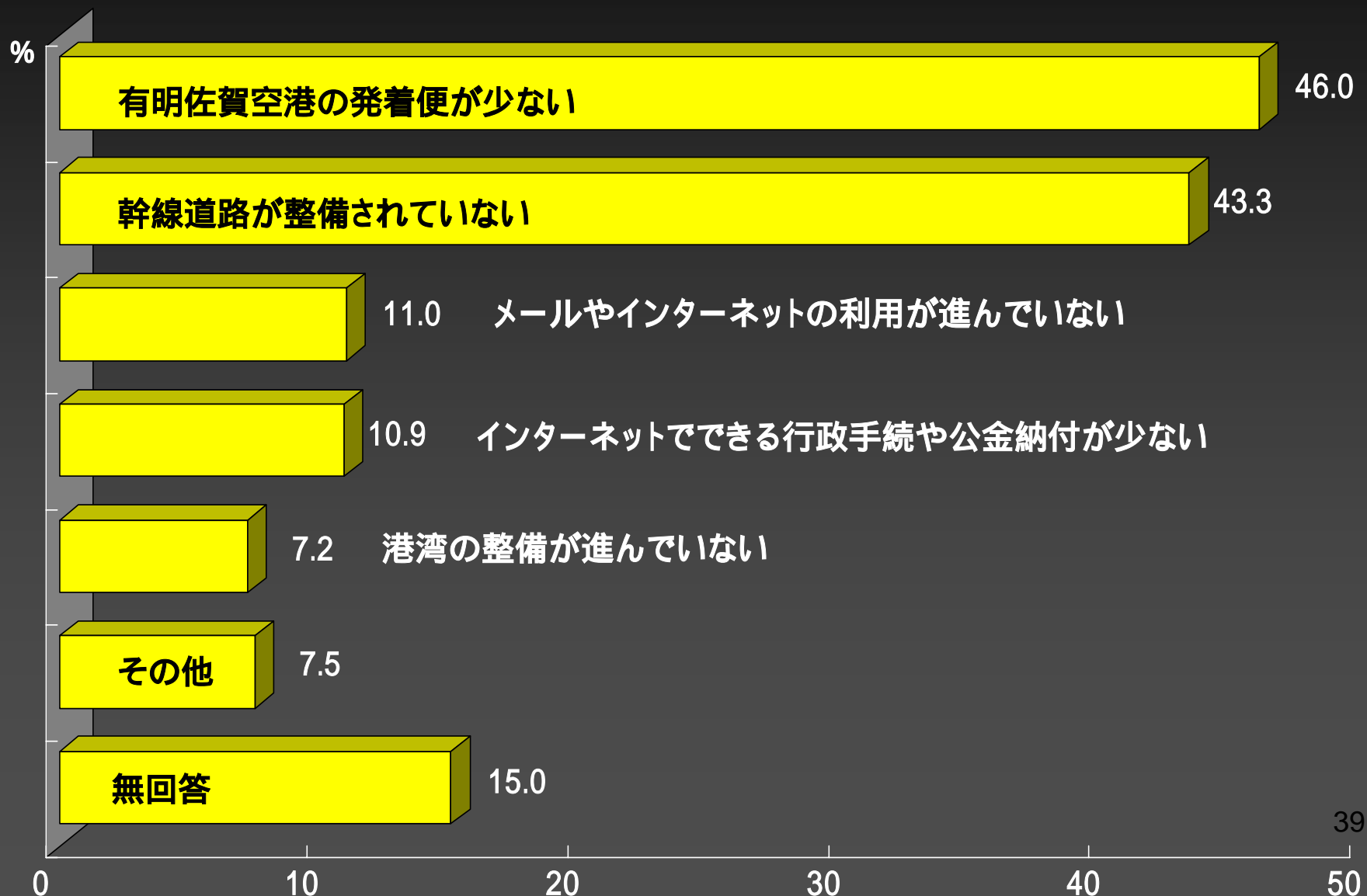
➤『思う計』は鳥栖市エリア(36.6%)や佐賀市エリア(35.1%)で、他の地域に比べてやや高くなっている。一方、『思わない計』は武雄市(54.1%)で最も高くなっている。



3. 「交通基盤・社会基盤・情報化」分野

(1) 人や物、情報の交流がスムーズにできる環境になっていないと思う理由

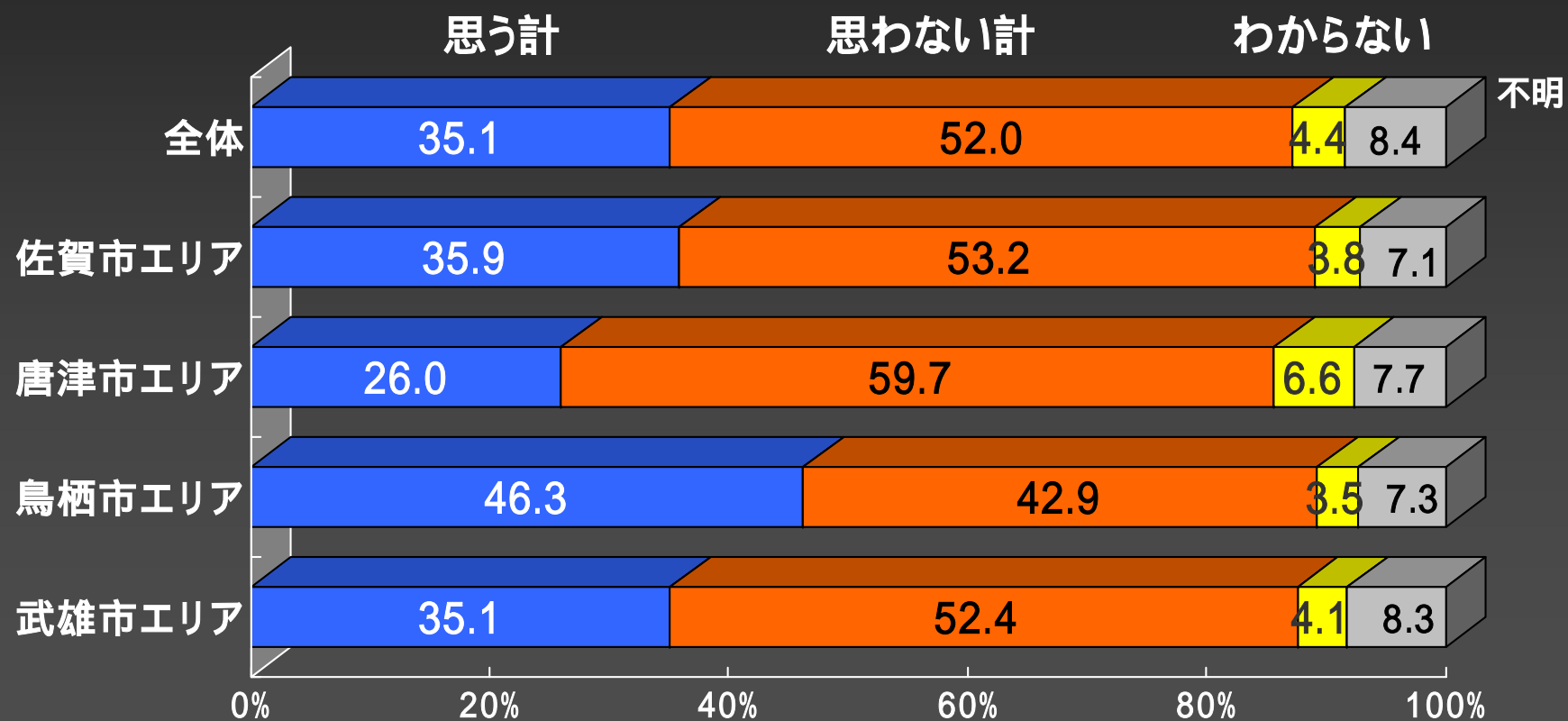
- 「有明佐賀空港の発着便が少ない」が46.0%と最も高くなっている。
また、「幹線道路が整備されていない」(43.3%)が次いで高くなっている。



3. 「交通基盤・社会基盤・情報化」分野

(2) 暮らしやすいまちになっているか

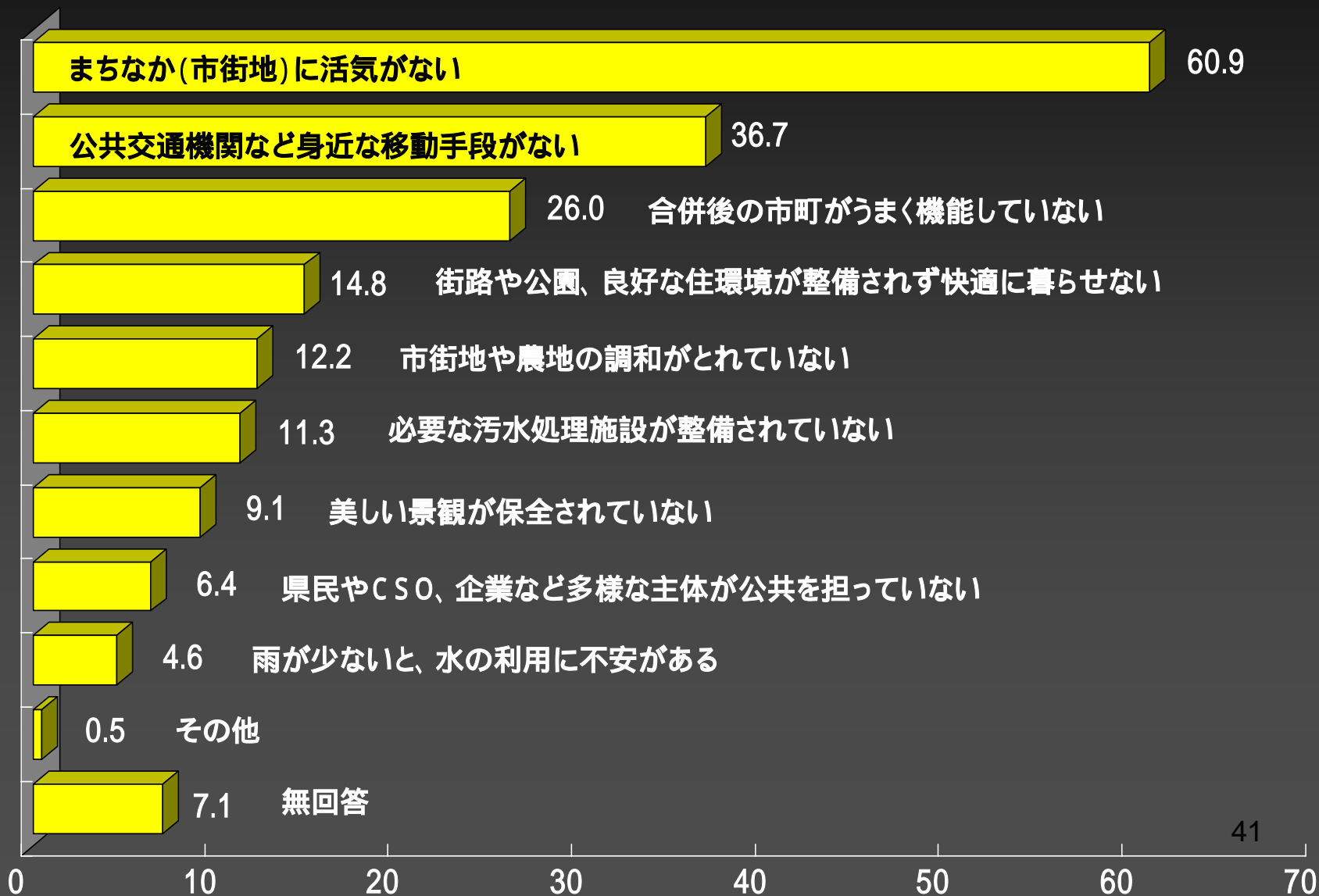
- 『思う計』は鳥栖市エリア(46.3%)で、『思わない計』は唐津市エリア(59.7%)で最も高くなっている。



3. 「交通基盤・社会基盤・情報化」分野

(2) 暮らしやすいまちになっていないと思う理由

➤ 「まちなか(市街地)に活気がない」が60.9%と最も高くなっている。



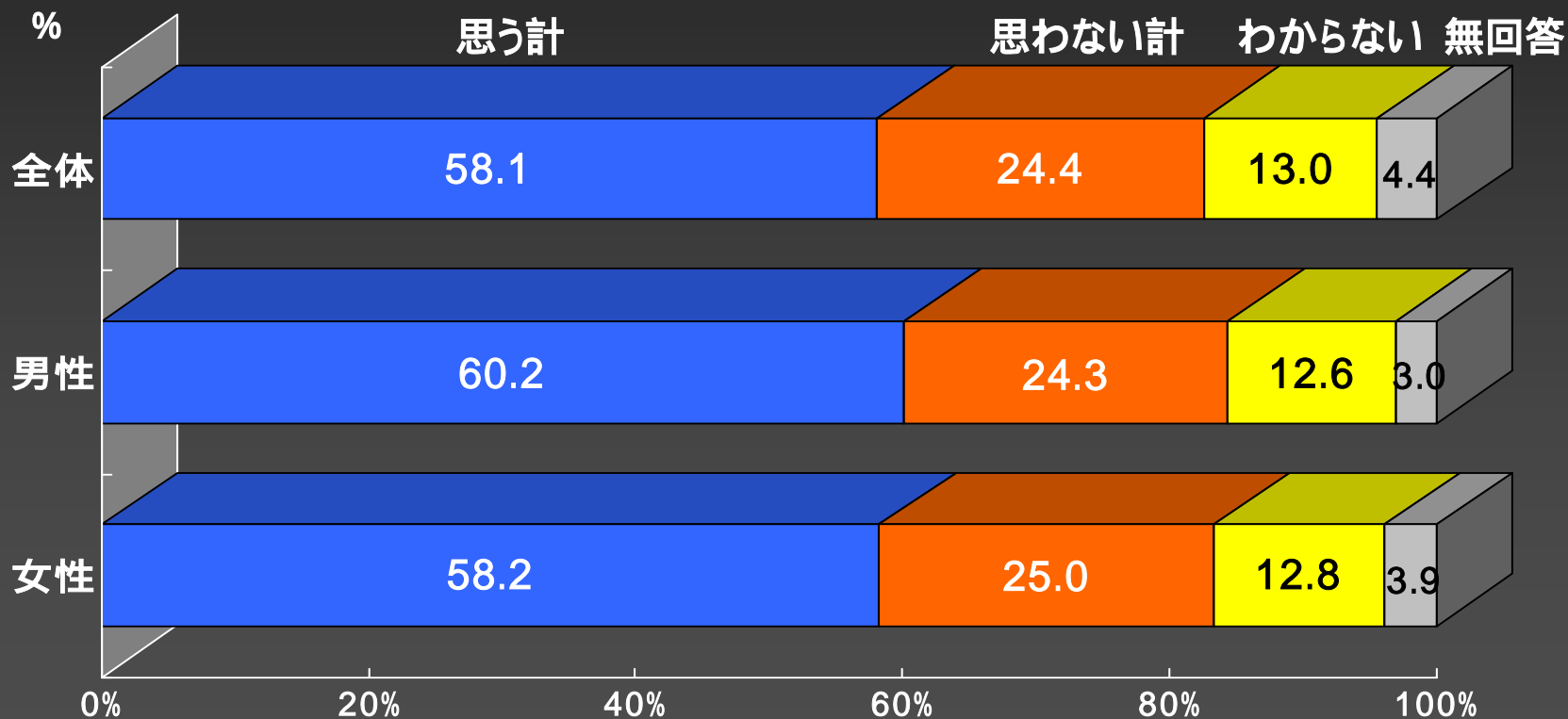
4. 「安全(消費、食、交通安全、防犯、防災) ・環境(地球環境、自然環境、生活環境)」分野

- (1) 安心して消費生活を送ることができる環境について
- (2) 地域犯罪や交通事故に対して安心できる環境について
- (3) 災害に対して安心できる環境について
- (4) 環境(地球、自然、生活など)を守る取組みについて

4. 「安全・環境」分野

(1) 安心して消費生活を送ることができる環境になっているか

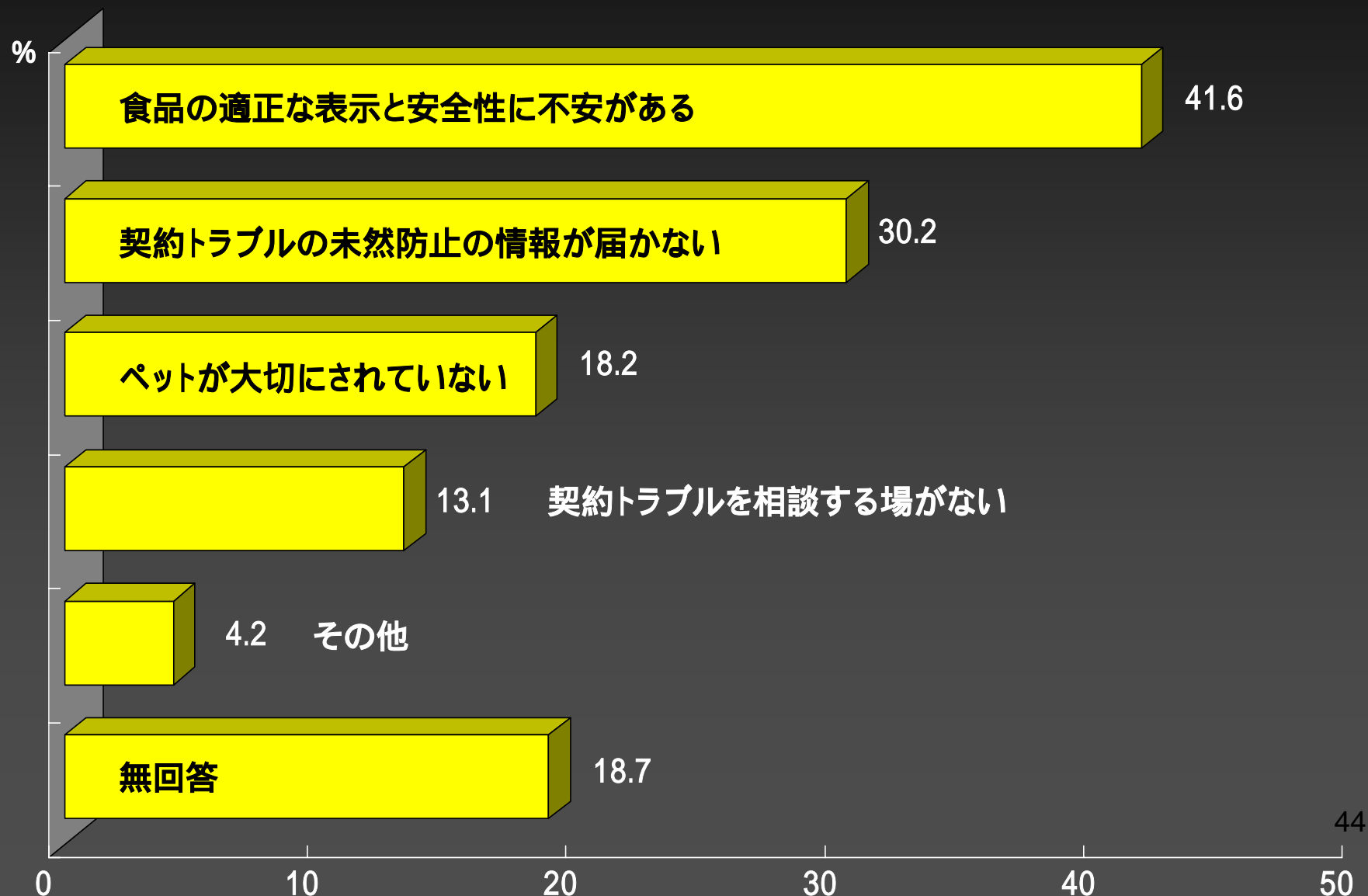
- ▶ 全体では「思う計」が58.1%と6割弱となっている。
- 一方、「思わない計」は24.4%で、「思う計」が「思わない計」を大きく上回っている。



4. 「安全・環境」分野

(1) 安心して消費生活を送ることができる環境となっていないと思う理由

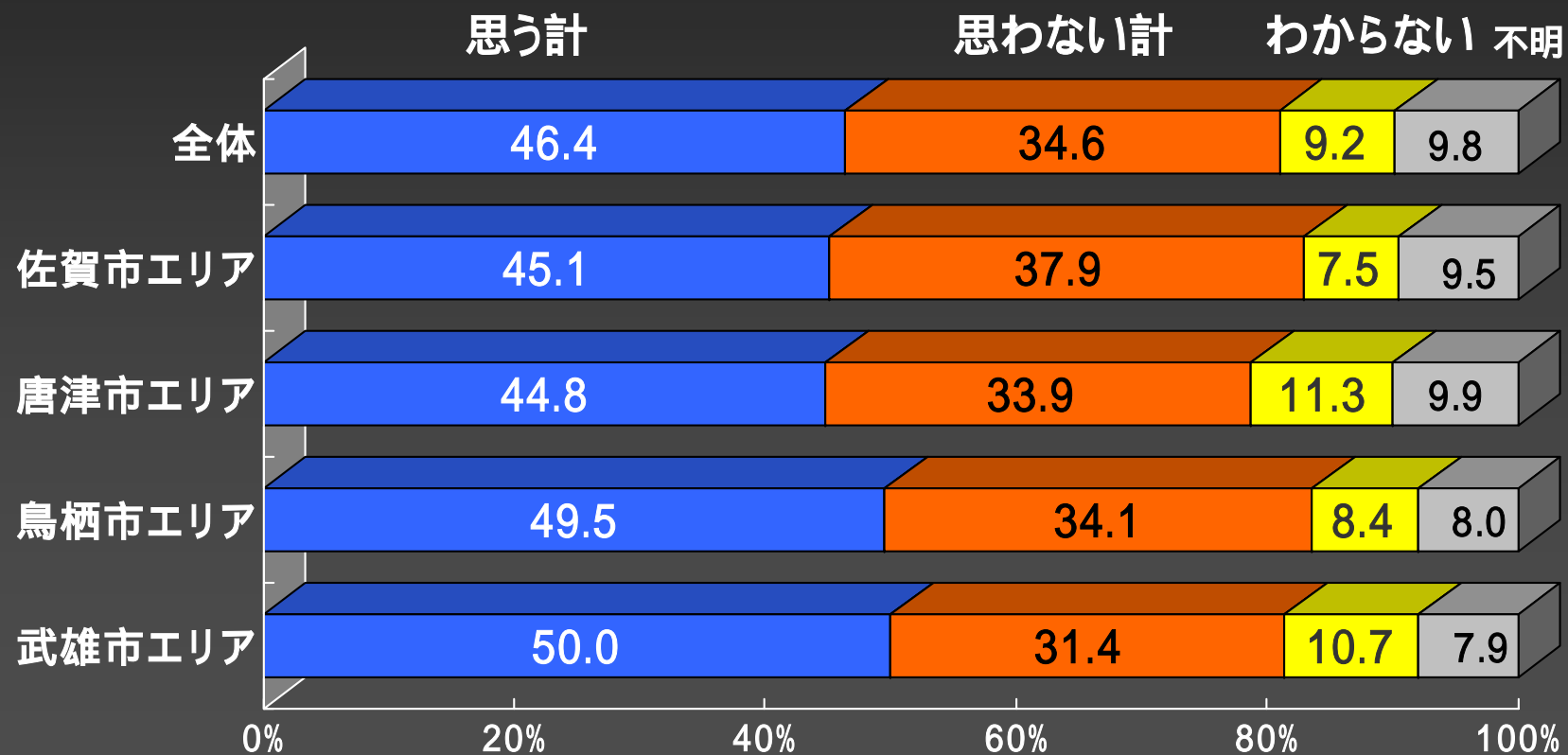
➤ 「食品の適正な表示と安全性に不安がある」が41.6%と最も高くなっている。



4.「安全・環境」分野

(2) 地域犯罪や交通事故に対して安心できる環境になっているか

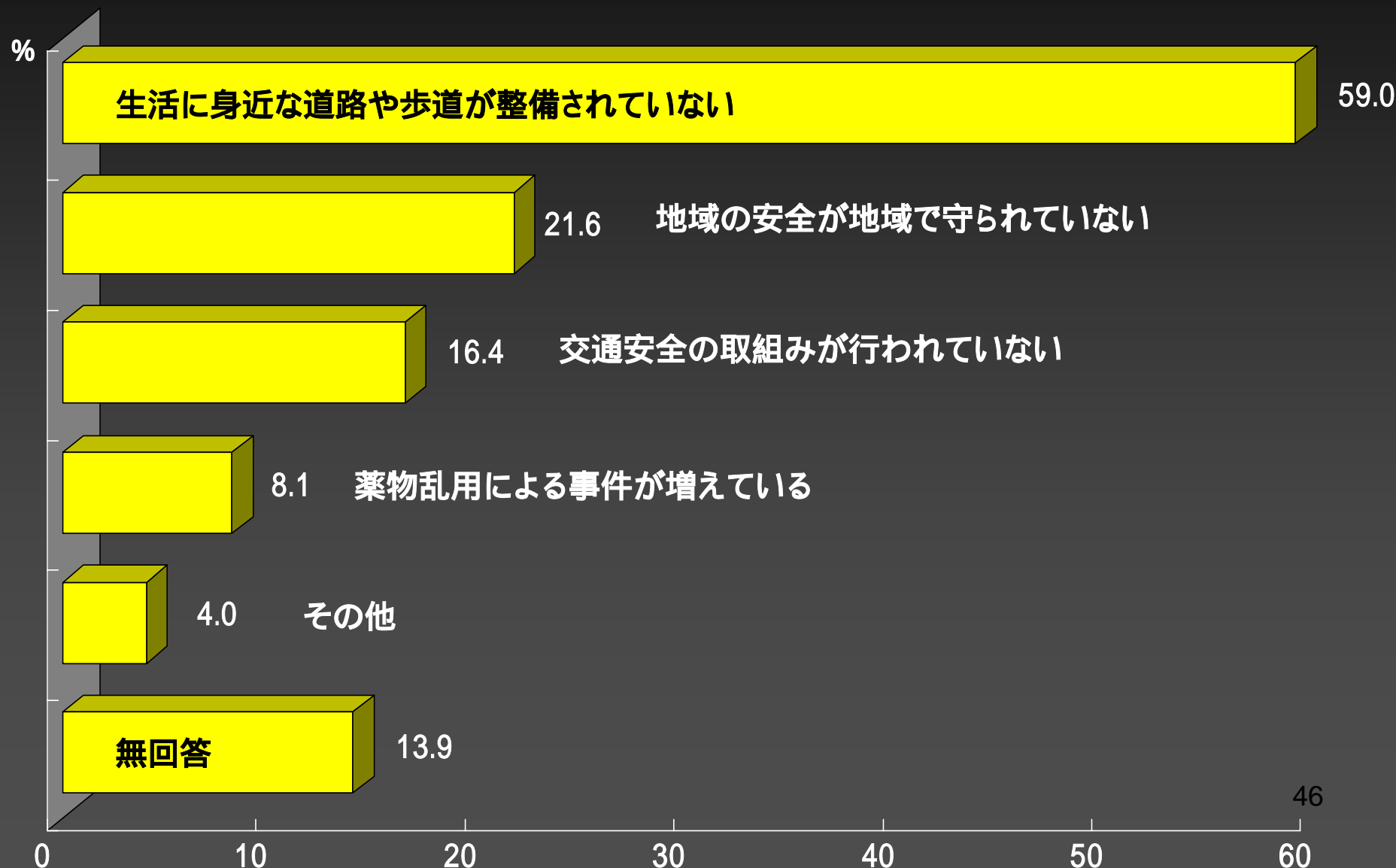
- 『思う計』は武雄市エリア(50.0%)で、『思わない計』は佐賀市エリア(37.9%)で最も高くなっている。



4. 「安全・環境」分野

(2) 地域犯罪や交通事故に対して安心できる環境になっていないと思う理由

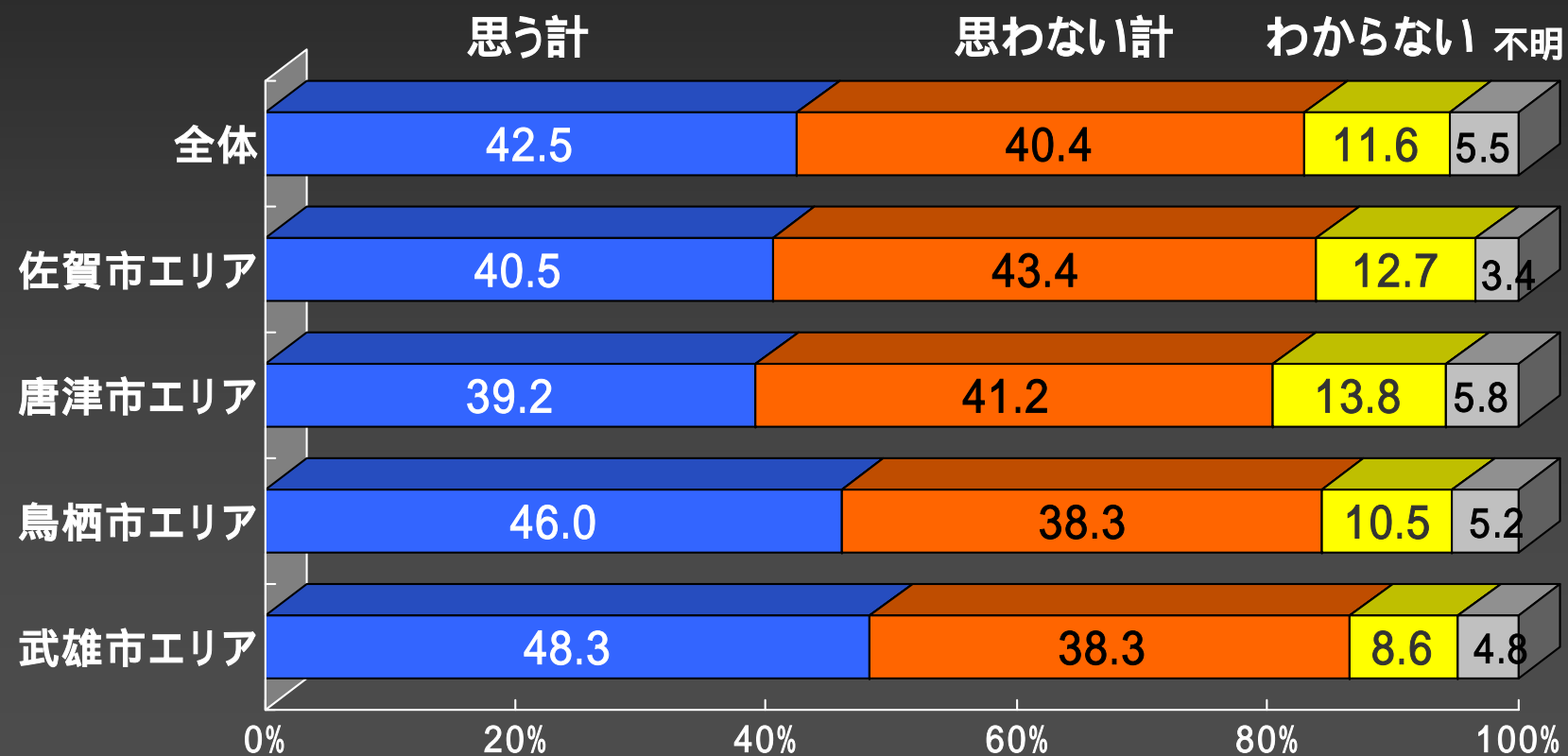
➤ 「生活に身近な道路や歩道が整備されていない」が59.0%と最も高くなっている。



4.「安全・環境」分野

(3) 災害に対して安心できる環境になっているか

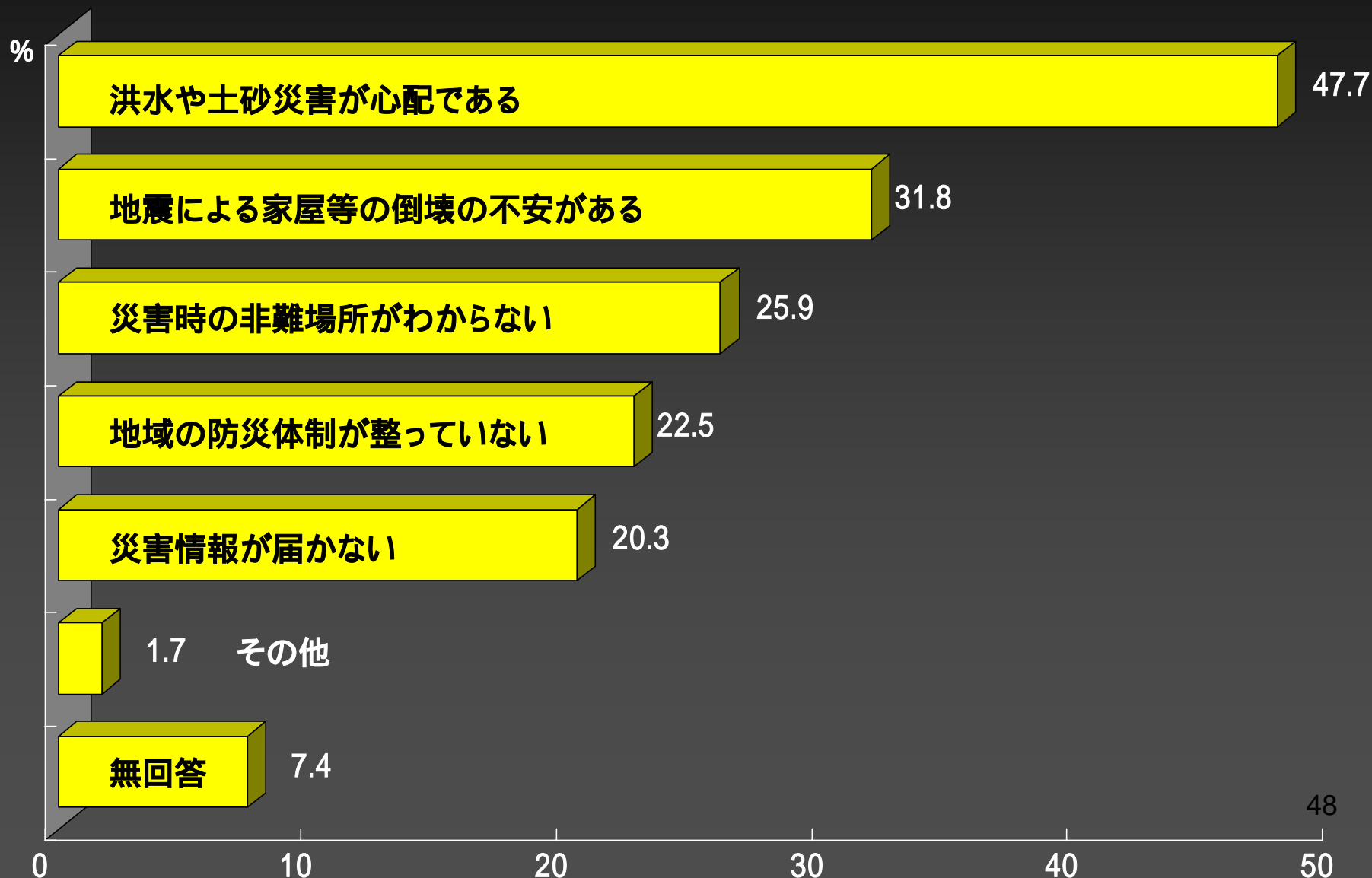
- 『思う計』は武雄市エリア(48.3%)で、『思わない計』は佐賀市エリア(43.4%)で最も高くなっている。



4. 「安全・環境」分野

(3) 災害に対して安心できる環境になっていないと思う理由

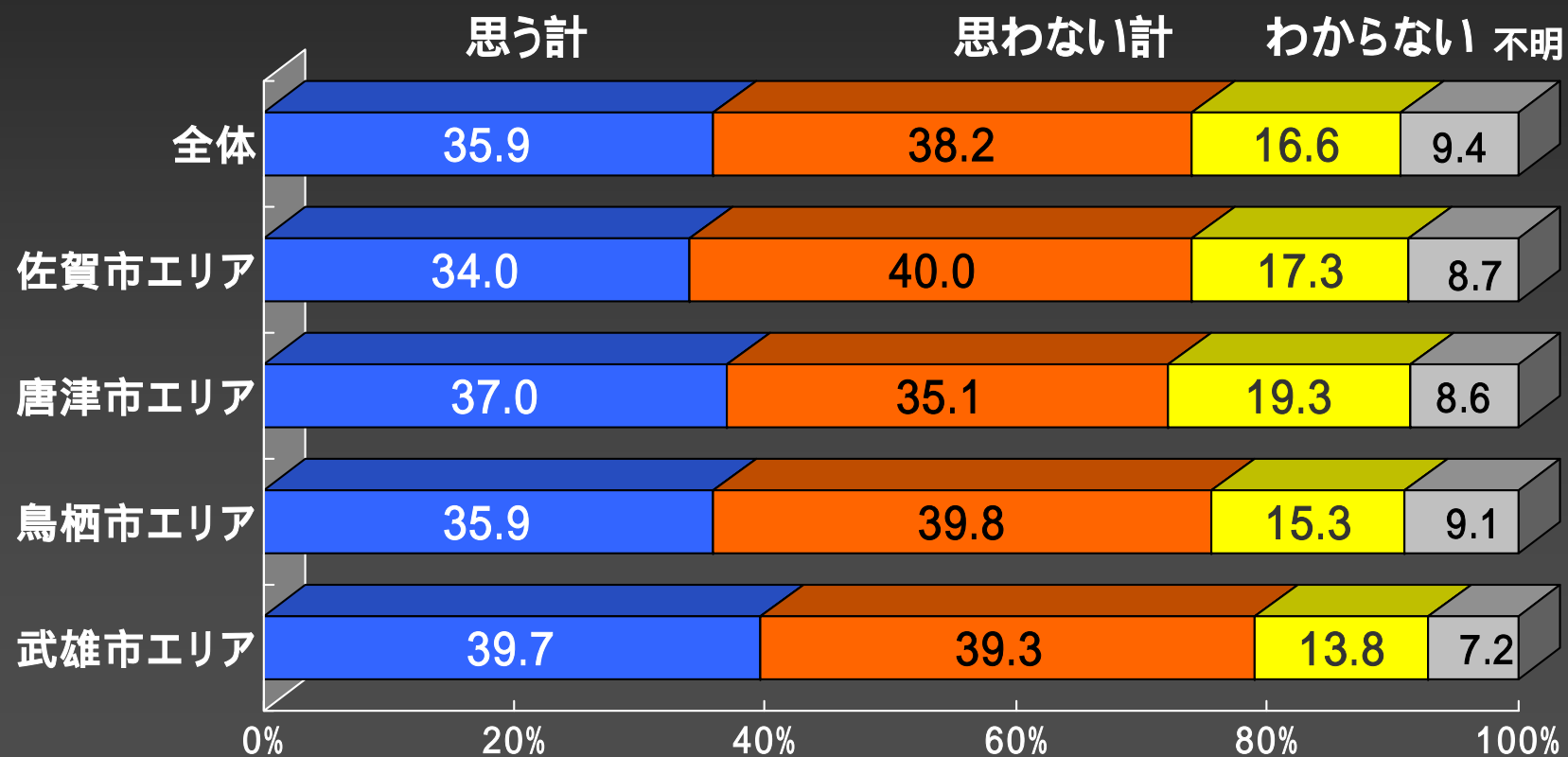
➤ 「洪水や土砂災害が心配である」が47.7%と最も高くなっている。



4.「安全・環境」分野

(4) 環境(地球、自然、生活など)を守る取組みが進んでいるか

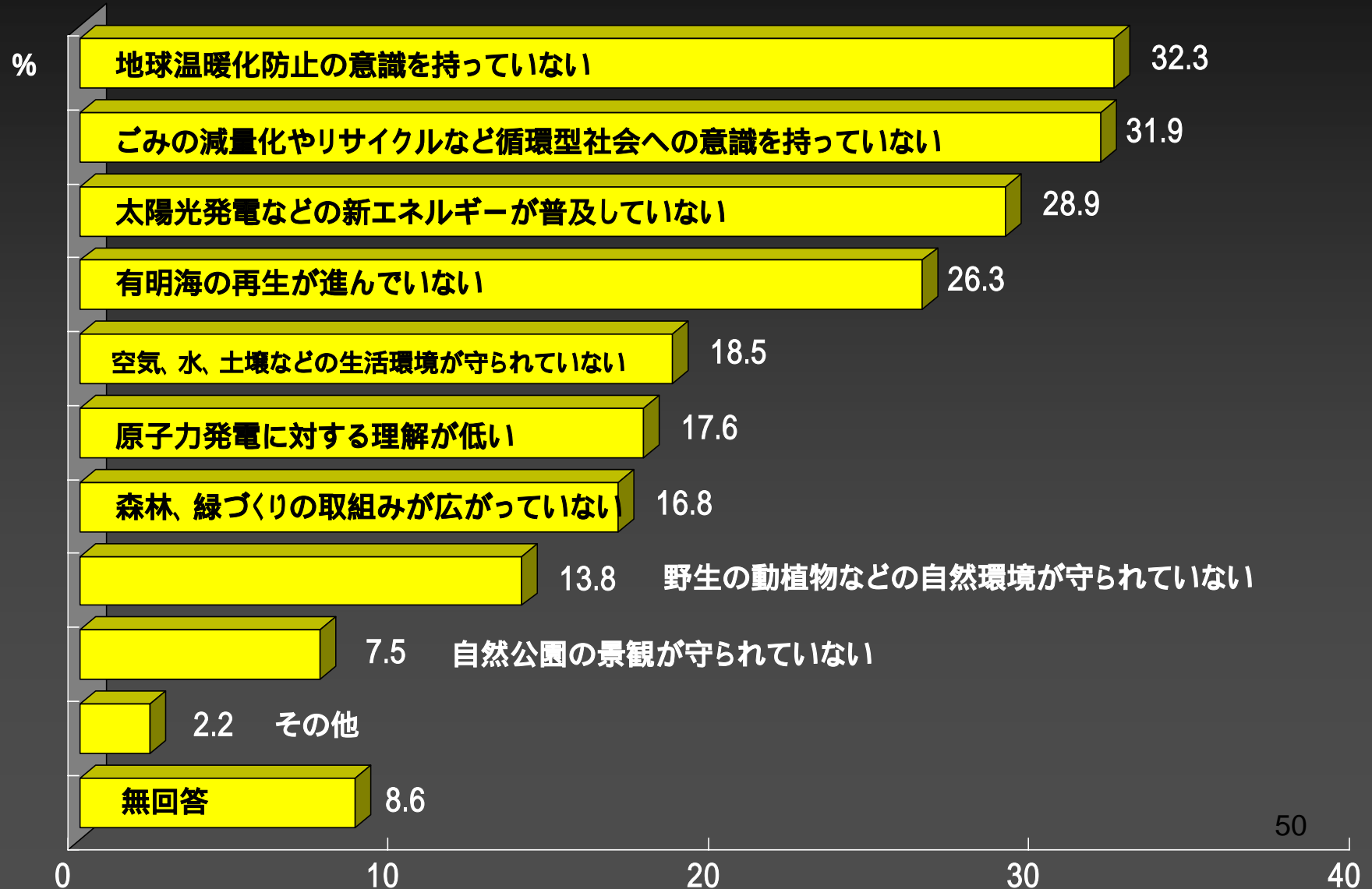
- 『思う計』は武雄市エリア(39.7%)で、『思わない計』は佐賀市エリア(40.0%)で最も高くなっている。



4. 「安全・環境」分野

(4) 環境(地球、自然、生活など)を守る取組みが進んでいないと思う理由

➤ 「地球温暖化防止の意識を持っていない」が32.3%と最も高くなっている。



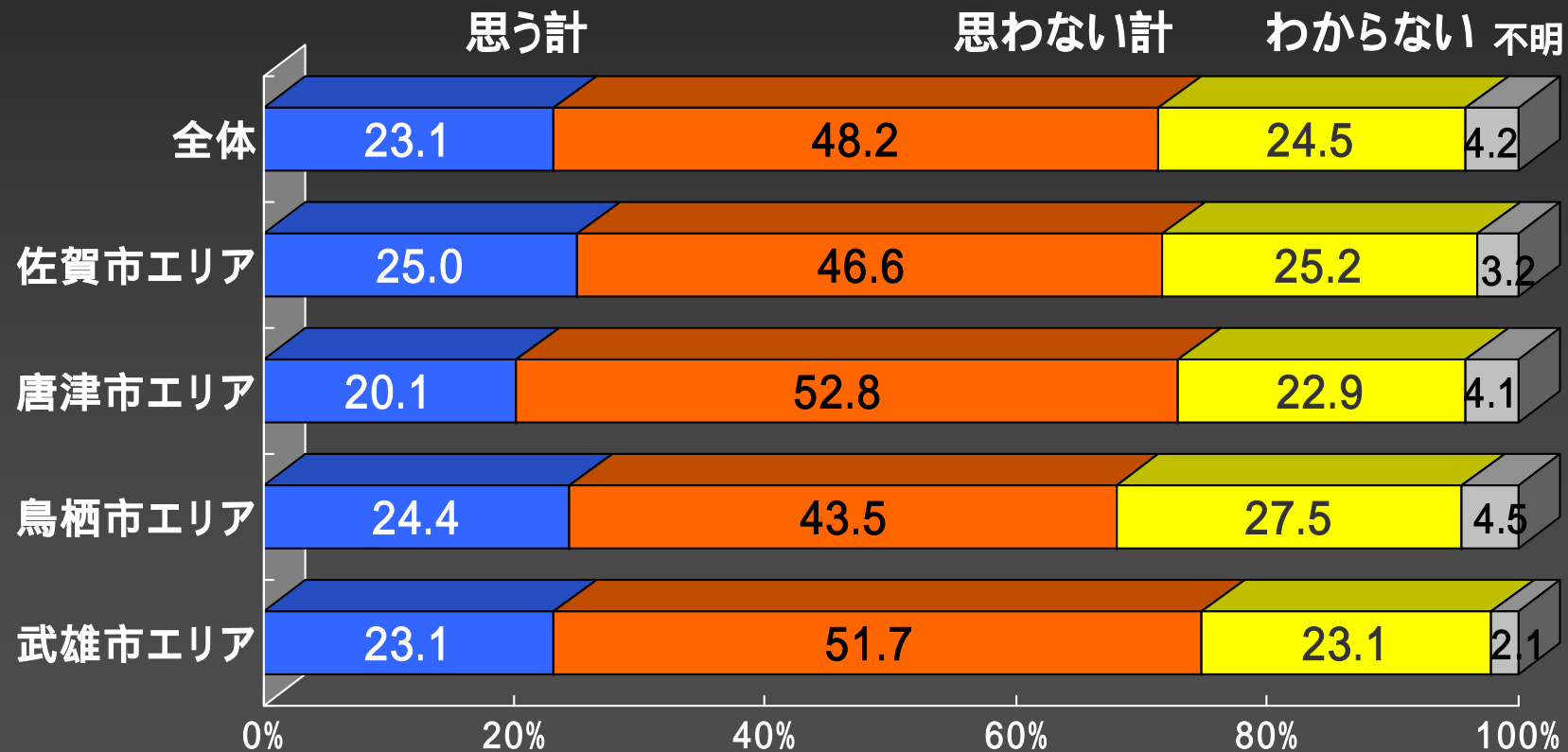
5 . 「産業(農業・林業・水産業・商業・工業・観光)」分野

- (1) 県内の農林水産業の活気について
- (2) 県内の企業の活気について
- (3) 県産品や観光地の県外での認知度について

5.「産業」分野

(1) 県内の農林水産業に活気があるか

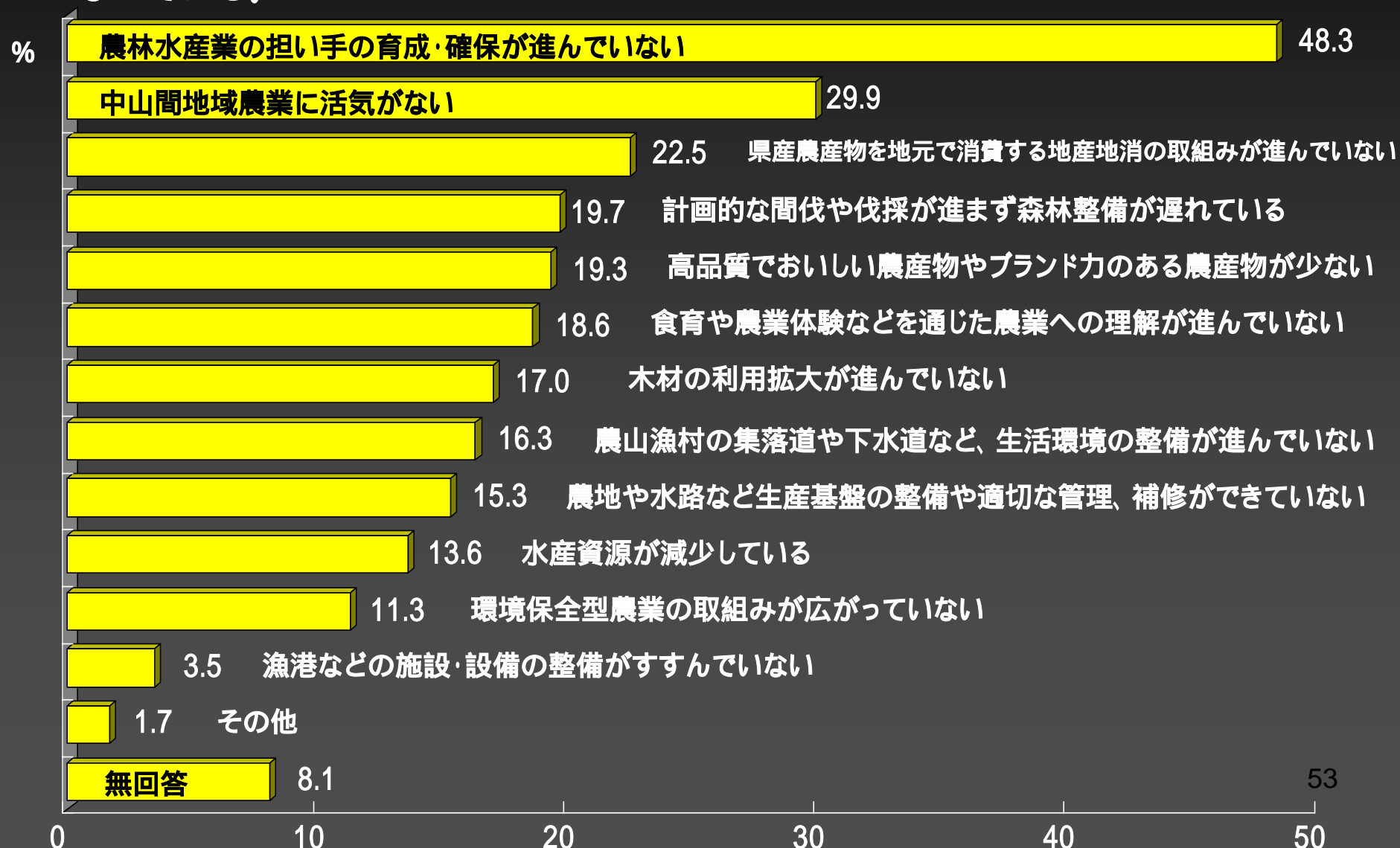
- 『思う計』は佐賀市エリア(25.0%)で高くなっている。
一方、『思わない計』は唐津市エリア(52.8%)、武雄市エリア(51.7%)で高くなっている。



5. 「産業」分野

(1) 県内の農林水産業に活気がないと思う理由

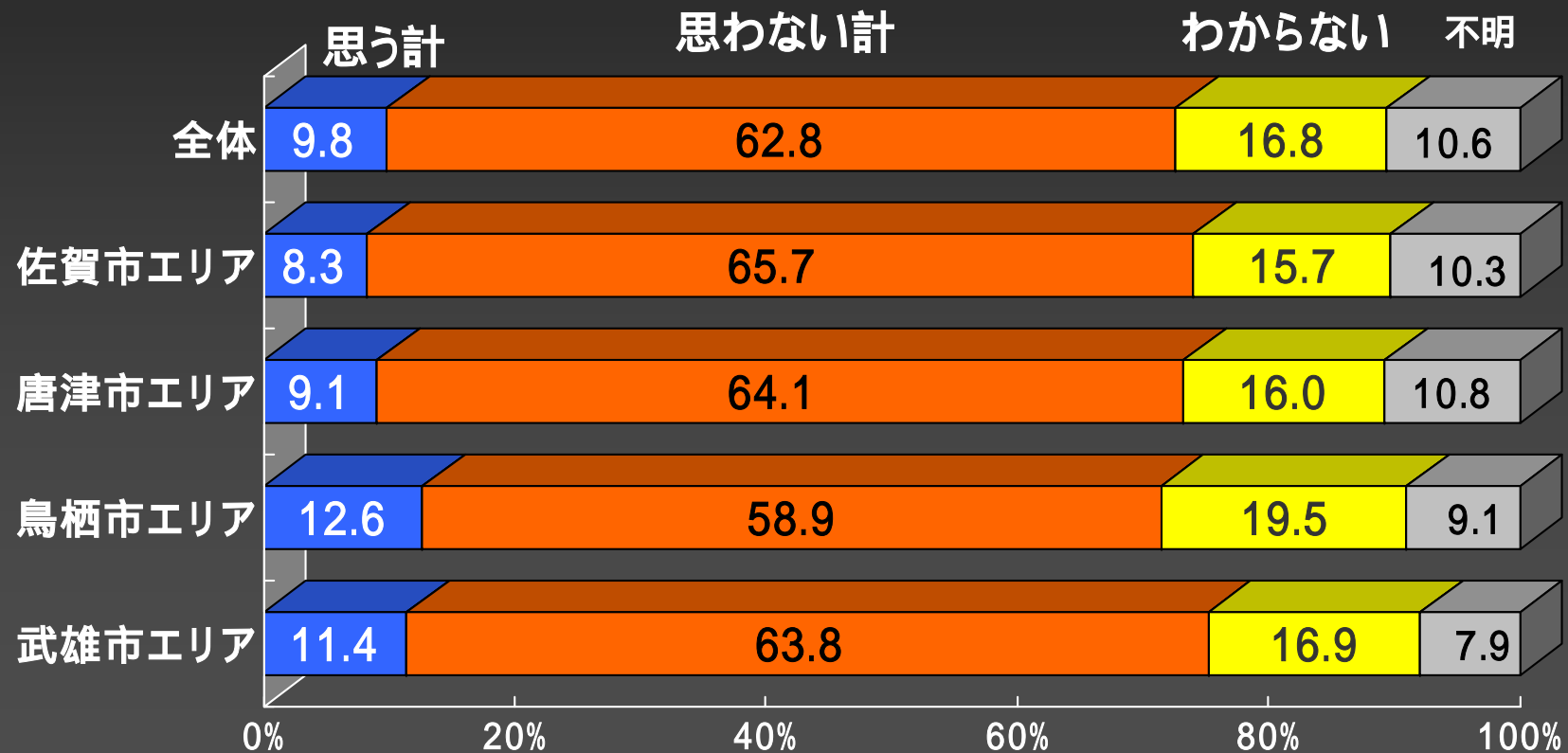
- 「農林水産業の担い手の育成・確保が進んでいない」が48.3%と最も高くなっている。



5.「産業」分野

(2) 県内の企業に活気があるか

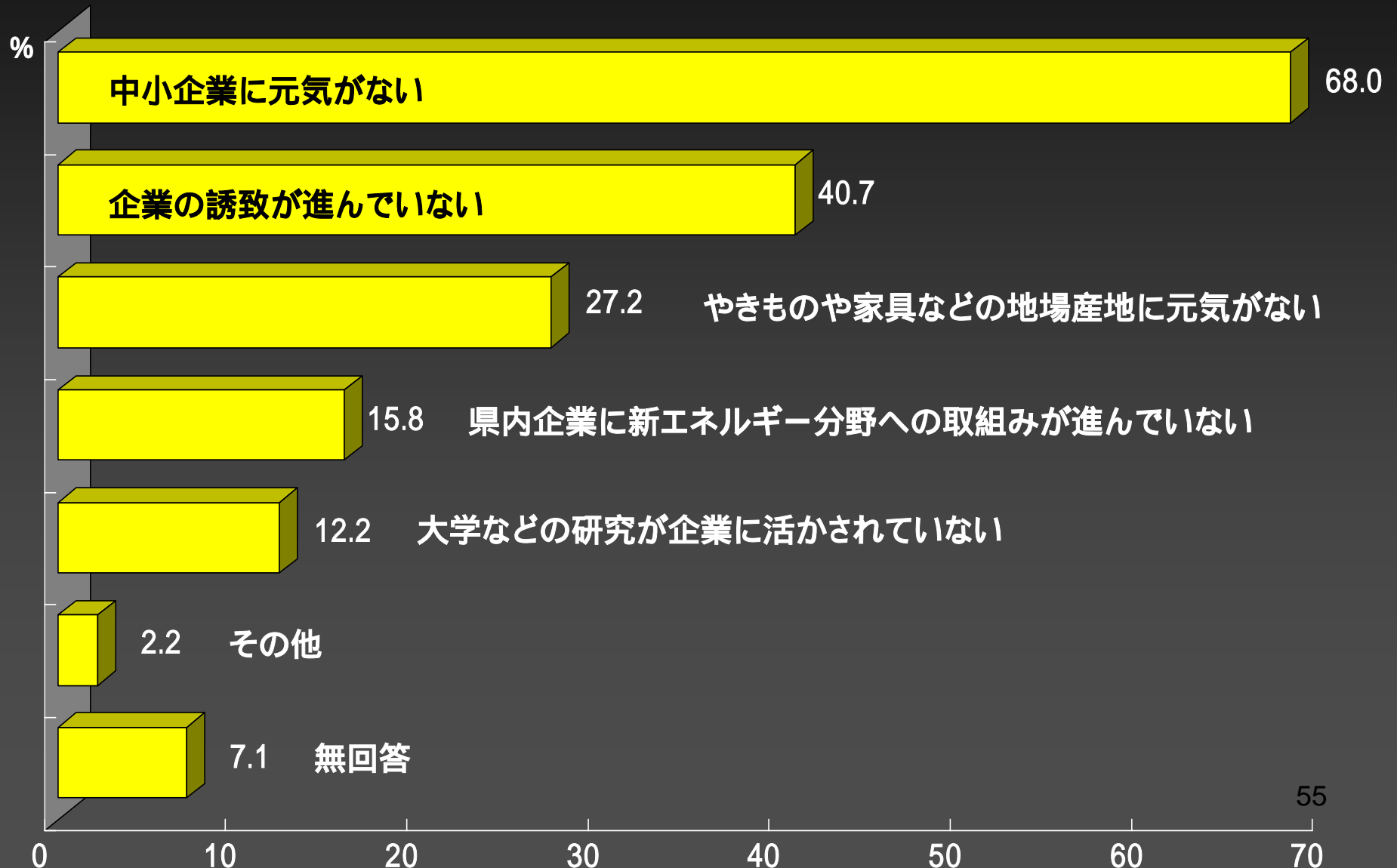
- 『思う計』は鳥栖市エリア(12.6%)で高くなっている。
一方、『思わない計』は佐賀市エリア(65.7%)で高くなっている。



5. 「産業」分野

(2) 県内の企業に活気がないと思う理由

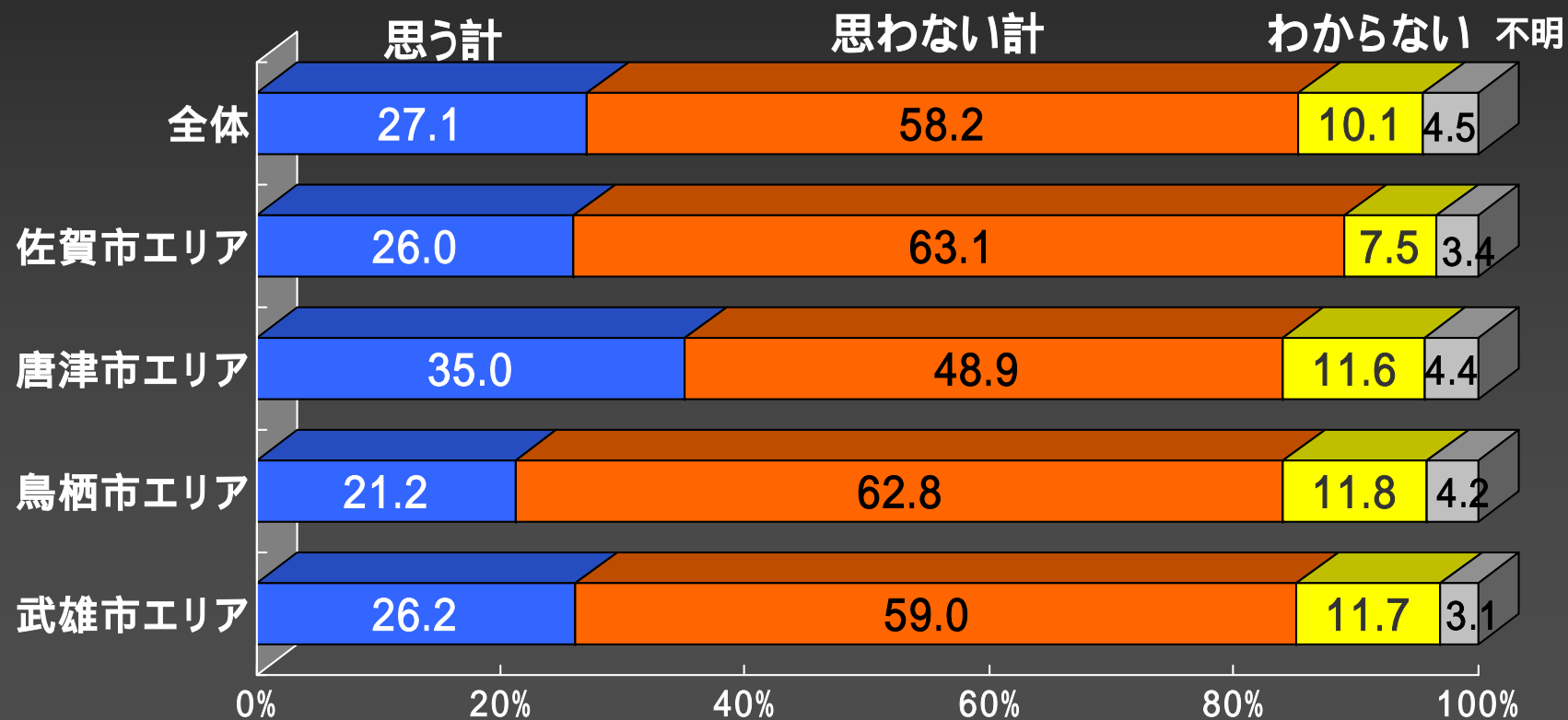
➤ 「中小企業に元気がない」が68.0%と最も高くなっている。



5.「産業」分野

(3) 県産品や観光地が県外にも知られているか

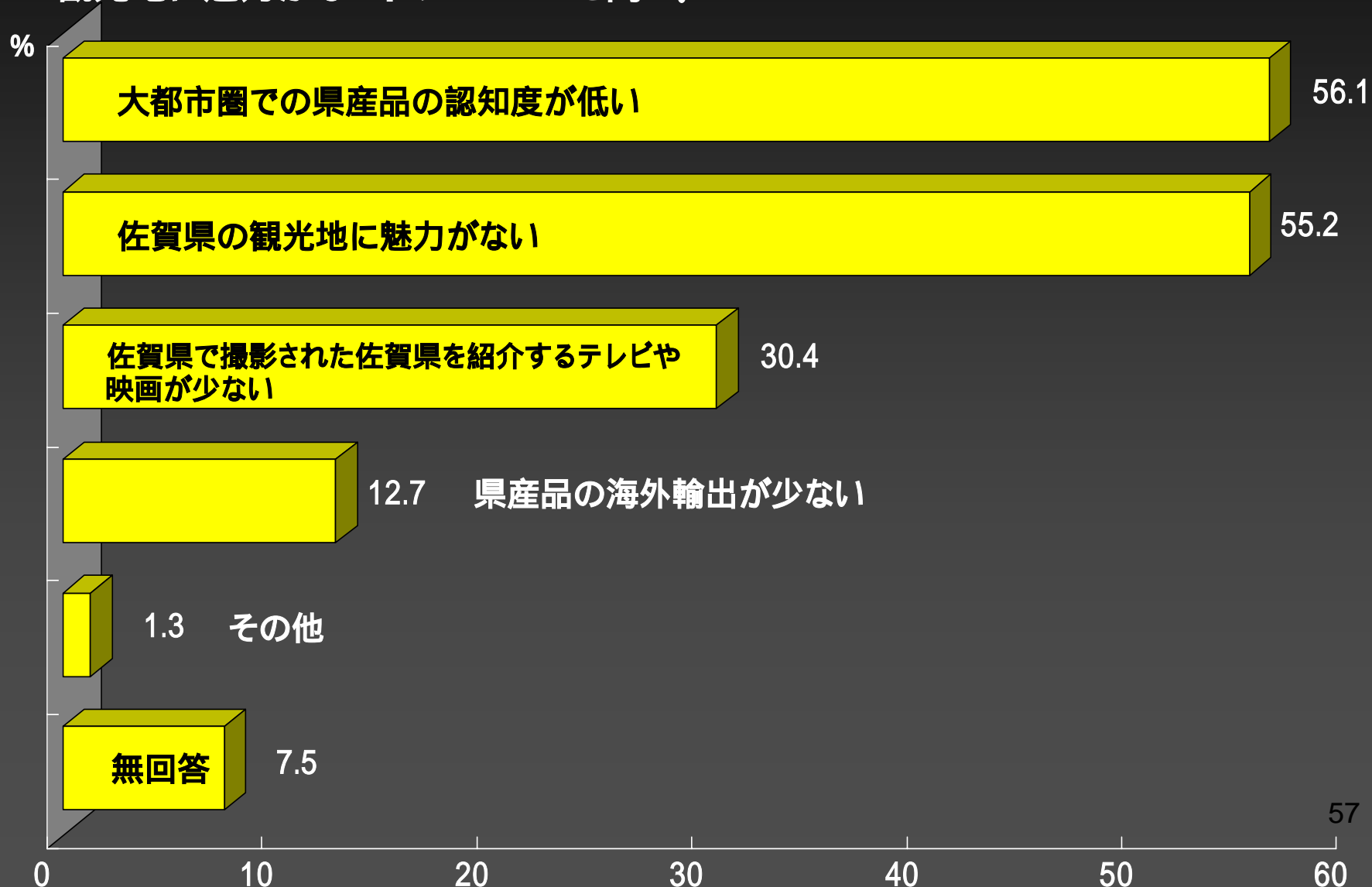
➤『思う計』は唐津市エリア(35.0%)で最も高く、『思わない計』は佐賀市エリア(63.1%)、鳥栖市エリア(62.8%)で6割強と高くなっている。



5. 「産業」分野

(3) 県産品や観光地が県外に知られていないと思う理由

- 「大都市圏での県産品の認知度が低い」が56.1%と最も高く、次いで「佐賀県の観光地に魅力がない」の55.2%と高い。



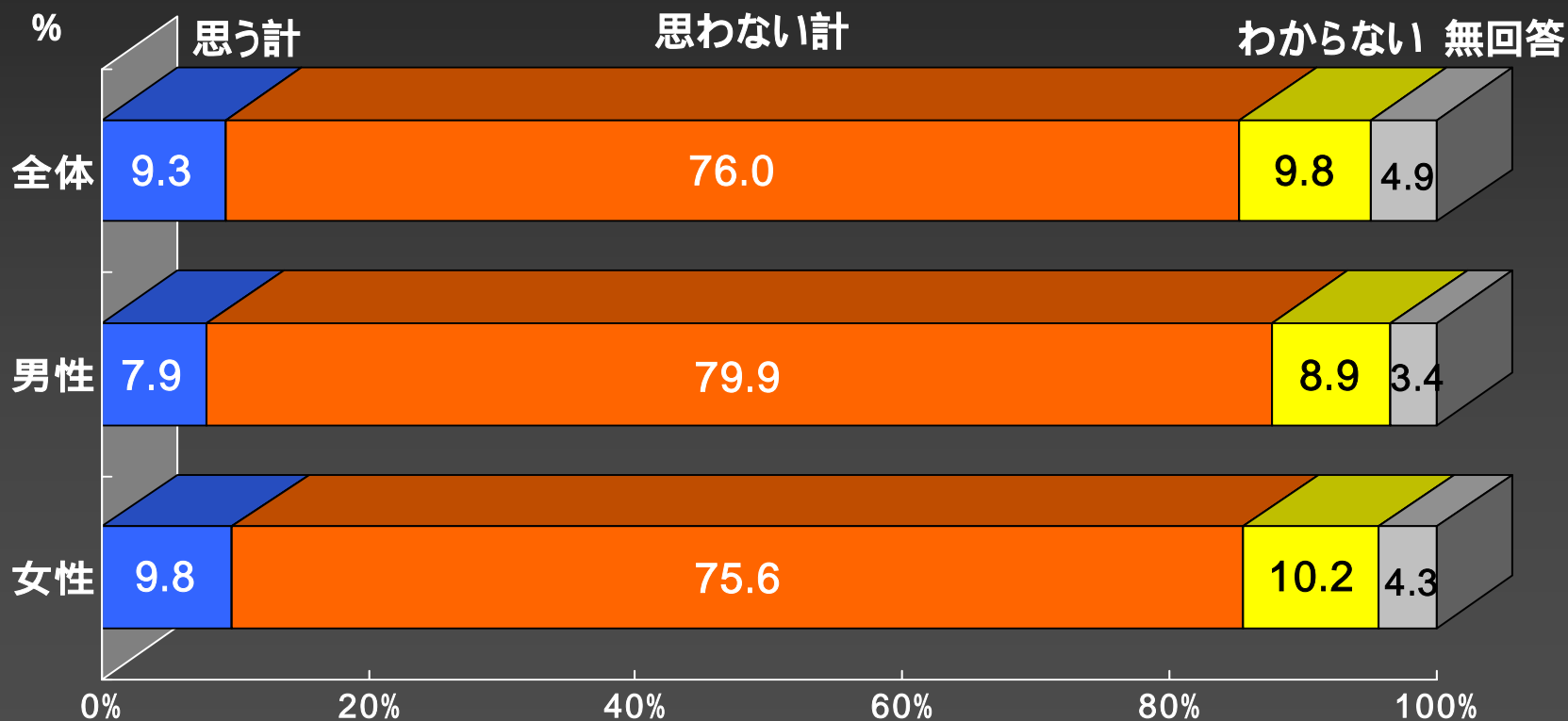
6. 「雇用・労働」分野

(1) だれもが意欲と能力に応じて働ける環境について

6. 「雇用・労働」分野

(1) だれもが意欲と能力に応じて働ける環境になっているか

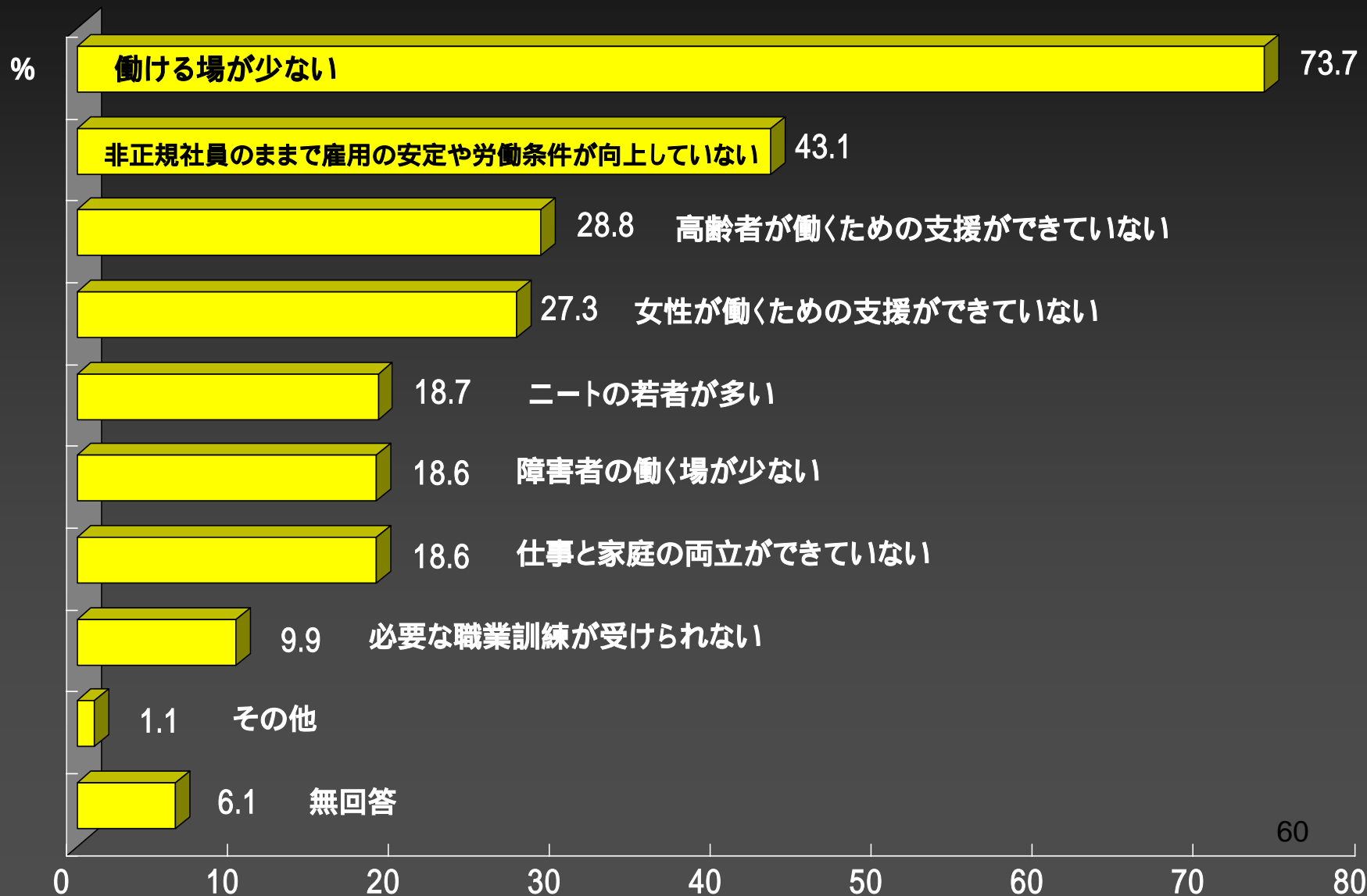
- ▶ 全体では「思う計」が9.3%と1割未満となっている。
一方、「思わない計」は76.0%と8割弱を占めて「思う計」を大きく上回っている。



6. 「雇用・労働」分野

(1) だれもが意欲と能力に応じて環境になっていないと思う理由

➤ 「働ける場が少ない」が73.7%と最も高くなっている。



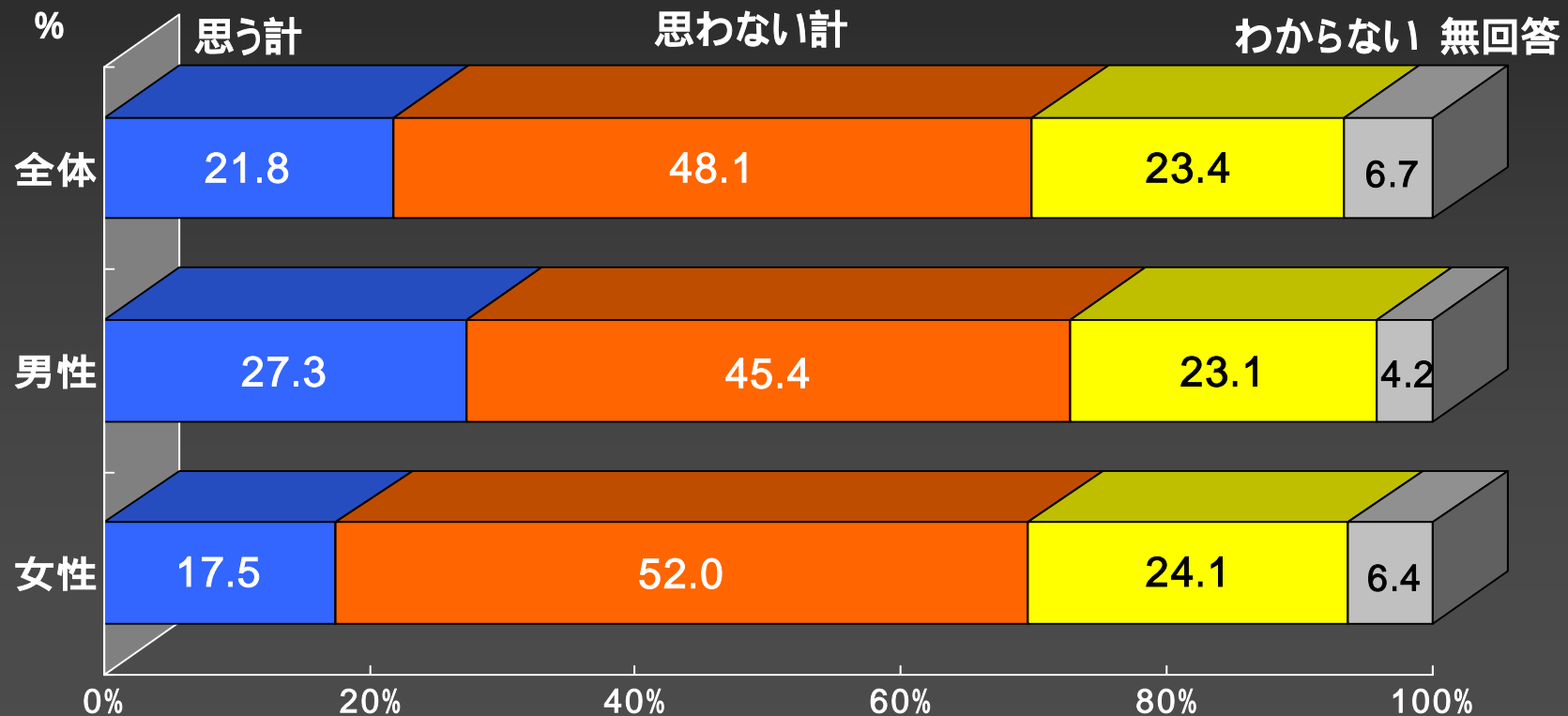
7. 「その他一般」分野

(1) だれもが社会で個性や能力を発揮できる環境について

7. 「その他一般」分野

(1) だれもが社会で個性や能力を発揮できる環境になっているか

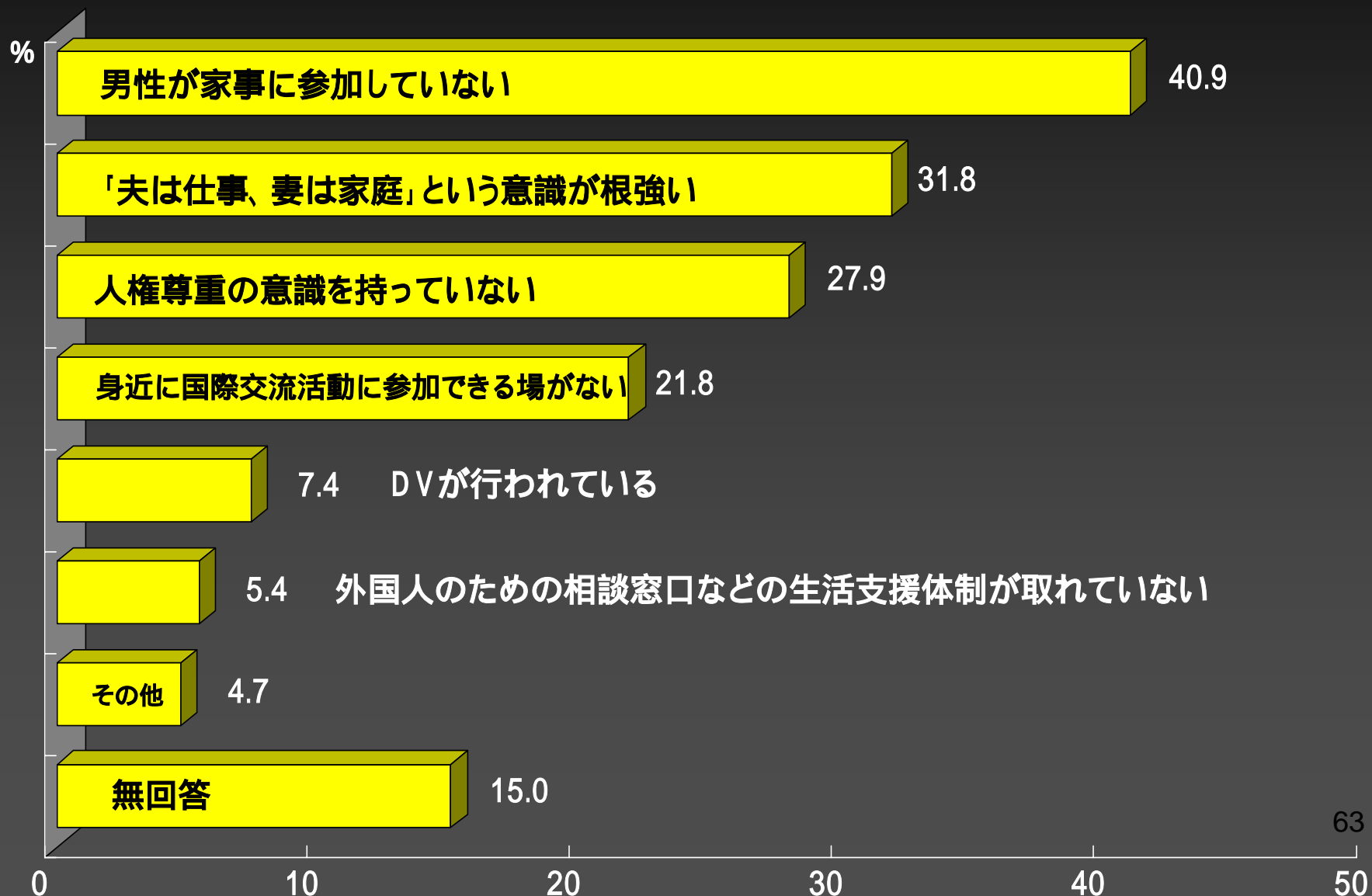
- 全体では「思う計」が21.8%となっている。
一方、「思わない計」は48.1%と5割弱を占めて「思う計」を大きく上回っている。



7. 「その他一般」分野

(1) だれもが社会で個性や能力を発揮できる環境になっていないと思う理由

➤ 「男性が家事に参加していない」が40.9%と最も高くなっている。



第3章 くらしの各分野・県政に対する意見・提案

《 意見集計結果 》

(単位:件)

1. 「福祉・保健・医療」分野	1,244
2. 「教育・文化・スポーツ」分野	777
3. 「交通基盤・社会基盤・情報化」分野	449
4. 「安全・環境」分野	628
5. 「産業」分野	503
6. 「雇用・労働」分野	309
7. 「その他一般」分野	157
8. 県政に対する意見・提案	490
総計	4,557